

令和元年度第4回

新宿区

区政モニターアンケート報告書

テーマ 『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に
向けて ～新宿区総合計画～



新宿区総合政策部区政情報課広聴係

目 次

I 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要.....	1
3 集計・分析結果を読む際の注意点.....	1
4 回答者の属性.....	2
II 調査の結果.....	5
基本政策Ⅰ 暮らしやすさ1番の新宿.....	5
<地域福祉>.....	5
(1) 高齢者・障害者の見守りに関する意識.....	5
<障害者福祉>.....	6
(1) 障害者の社会参加のしやすさ.....	6
(2) 障害者が社会参加しやすいまちだと思う点.....	7
(3) 「障害者差別解消法」の認知状況.....	8
<地域活動>.....	9
(1) 地域活動への参加.....	9
基本政策Ⅱ 新宿の高度防災都市化と安全安心の強化.....	13
<防災対策>.....	13
(1) 避難場所・避難所の認知度.....	13
(2) 家庭内の防災対策.....	15
(3) 防災対策の内容.....	16
<安全・安心>.....	18
(1) 犯罪への不安.....	18
(2) 不安を感じる理由.....	19
<安全な消費生活>.....	20
(1) 消費者問題への関心度.....	20
(2) 区の消費生活センターへの相談.....	21
<感染症予防>.....	22
(1) 手洗い習慣.....	22
(2) 「咳エチケット」の実施.....	24
(3) 食の安全に関する正しい知識や情報の保有状況.....	25
基本政策Ⅲ 賑わい都市・新宿の創造.....	26
<新宿駅周辺の回遊性>.....	26
(1) 新宿駅周辺の歩きやすさ.....	26
(2) 新宿駅周辺が歩きにくいと思う理由.....	27

＜美しいまちづくり＞	28
（１）新宿区全体の景観に対する区民意識	28
＜地域特性をふまえたまちづくり＞	29
（１）地域の特性をふまえたまちづくりへの意識	29
＜安全で快適な道路＞	30
（１）道路の歩きやすさの満足度	30
（２）安全で快適な道路だと思わない理由	31
＜公園整備＞	32
（１）公園の利用状況	32
（２）公園の満足度	33
（３）公園を利用しない理由	34
＜環境＞	36
（１）環境配慮のために実施していること	36
＜文化・芸術＞	38
（１）新宿区の伝統文化や文化財への関心度	38
（２）関心のある事柄	39
（３）文化・芸術に触れる機会の有無	42
（４）関心のある内容	44
（５）「新宿フィールドミュージアム」の認知度	46
（６）文化月間中の文化芸術イベントへの参加状況	47
（７）どのようなジャンルのイベントに参加したか	48
＜生涯学習＞	50
（１）スポーツ・生涯学習等の実施状況	50
（２）スポーツ・生涯学習等の頻度	52
＜多文化共生＞	53
（１）多文化共生の進捗度	53
基本政策Ⅴ 好感度１番の区役所	54
＜行政サービス＞	54
（１）行政サービスの印象	54
その他	56
＜しんじゅくコール（新宿区コールセンター）＞	56
（１）「しんじゅくコール」の認知度	56
（２）「しんじゅくコール」利用の有無	58
（３）オペレーターの案内について	59
＜区政モニターアンケートで調査する「新宿区総合計画」の指標値＞	60
Ⅲ 資料（調査票）	63

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、今日的な区政課題への迅速な対応の検討や的確な事業執行を進める上での基礎資料とするため、アンケート区政モニターの方を対象にアンケート調査を実施し、今後の区政運営の参考とするものである。

2 調査の概要

《第3回》	調査対象	アンケート区政モニター 982 名
	調査内容	『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～
	調査期間	令和元年12月5日～令和元年12月20日
	調査方法	郵送配布・郵送回収
	回答数	875 票（回収率 89.1%）

3 集計・分析結果を読む際の注意点

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表している。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示している。
- 「MT」は、「Multiple Total」の略で、複数回答の合計数を示している。
- 回答はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、その数値の合計は100%を前後する場合がある。
- 複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがある。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表す。
- クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合、これを表示していない。よって「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合がある。

統計の数値を考察するにあたり、本報告書では次の表現を用いる。

（例）		（表現）
80.1～80.9%	⇒	約8割
81.0～82.9%	⇒	8割強
83.0～84.9%	⇒	8割台半ば近く
85.0～85.9%	⇒	8割台半ば
86.0～87.9%	⇒	8割台半ばを超え
88.0～88.9%	⇒	9割近く
89.0～89.9%	⇒	9割弱

I 調査の概要

○ライフステージの名称及び内容は、以下のとおりである。

独身期 : 40歳未満の独身者

家族形成期 : 40歳未満の子どものいない夫婦、または一番上の子どもが入学前の人

家族成長前期 : 一番上の子どもが小・中学生の人

家族成長後期 : 一番上の子どもが高校・大学生の人

家族成熟期 : 64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人

(生計を別にした子どもがいる人を含む)

高齢期 : 65歳以上の人 (生計を別にした子どもがいる人を含む)

その他 : 40歳から64歳の独身者、40歳から64歳の子どものない夫婦など

4 回答者の属性

(1) 居住地域

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 四谷	129	14.7	6 戸塚	92	10.5
2 筆筈町	112	12.8	7 落合第一	89	10.2
3 榎町	90	10.3	8 落合第二	88	10.1
4 若松町	92	10.5	9 柏木	59	6.7
5 大久保	91	10.4	10 角筈・区役所	33	3.8
			計	875	100.0%

(2) 性別

選択肢	回答数	割合 (%)
1 男性	384	43.9
2 女性	491	56.1
計	875	100.0%

(3) 年齢

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 18～19歳	3	0.3	9 55～59歳	85	9.7
2 20～24歳	15	1.7	10 60～64歳	58	6.6
3 25～29歳	43	4.9	11 65～69歳	57	6.5
4 30～34歳	71	8.1	12 70～74歳	68	7.8
5 35～39歳	79	9.0	13 75～79歳	57	6.5
6 40～44歳	110	12.6	14 80歳以上	56	6.4
7 45～49歳	85	9.7	無回答	2	0.2
8 50～54歳	86	9.8	計	875	100.0%

(4) 職業

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 会社員・団体職員	337	38.5	5 学生	22	2.5
2 会社役員・団体役員	52	5.9	6 専業主婦・主夫	118	13.5
3 パート・アルバイト、 非常勤、嘱託、派遣など	129	14.7	7 無職	111	12.7
4 自営業、自由業	91	10.4	8 その他	7	0.8
			無回答	8	0.9
			計	875	100.0%

(5) 職場や学校の所在地

選択肢	回答数	割合(%)
1 新宿区内	230	36.5
2 新宿区外	391	62.0
無回答	10	1.6
計	631	100.0%

(6) 同居している家族等

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 子	367	41.9	6 兄弟姉妹	34	3.9
2 妻または夫	545	62.3	7 その他	14	1.6
3 親	101	11.5	8 ひとり暮らし	174	19.9
4 祖父母	3	0.3	無回答	10	1.1
5 孫	19	2.2	回答総計	1,267	144.8%
			計	875	100.0%

(7) 同居者数

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 1人	286	41.4	4 4人	33	4.8
2 2人	213	30.8	5 5人以上	21	3.0
3 3人	135	19.5	無回答	3	0.4
			計	691	100.0%

(8) 同居している子

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 一番上の子が小学校入学前	93	25.3	4 一番上の子が学校を卒業	110	30.0
2 一番上の子が小・中学生	84	22.9	無回答	15	4.1
3 一番上の子が高・大学生	65	17.7	計	367	100.0%

(9) 新宿区での居住年数

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 1年未満	0	0.0	5 10年以上20年未満	173	19.8
2 1年以上3年未満	60	6.9	6 20年以上30年未満	115	13.1
3 3年以上5年未満	105	12.0	7 30年以上	272	31.1
4 5年以上10年未満	142	16.2	無回答	8	0.9
			計	875	100.0%

I 調査の概要

(10) 住居形態

一戸建て				集合住宅			
選択肢	回答数	割合 (%)		選択肢	回答数	割合 (%)	
1 持ち家の一戸建て	228	26.1		5 分譲マンション・アパート	325	37.1	
2 賃貸の一戸建て	24	2.7		6 賃貸マンション・アパート	207	23.7	
3 社宅・公務員官舎の一戸建て	8	0.9		7 賃貸のUR都市機構（旧公団）・公社のマンション・アパート	6	0.7	
4 その他	2	0.2		8 賃貸の都営・区営住宅	37	4.2	
				9 社宅・公務員官舎	23	2.6	
				10 その他	7	0.8	
				無回答	8	0.9	
				計	875	100.0%	

(11) ライフステージ

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 独身期	52	5.9	5 家族成熟期	48	5.5
2 家族形成期	119	13.6	6 高齢期	238	27.2
3 家族成長前期	84	9.6	7 その他	270	30.9
4 家族成長後期	64	7.3	計	875	100.0%

Ⅱ 調査の結果

基本政策Ⅰ 暮らしやすさ1番の新宿

<地域福祉>

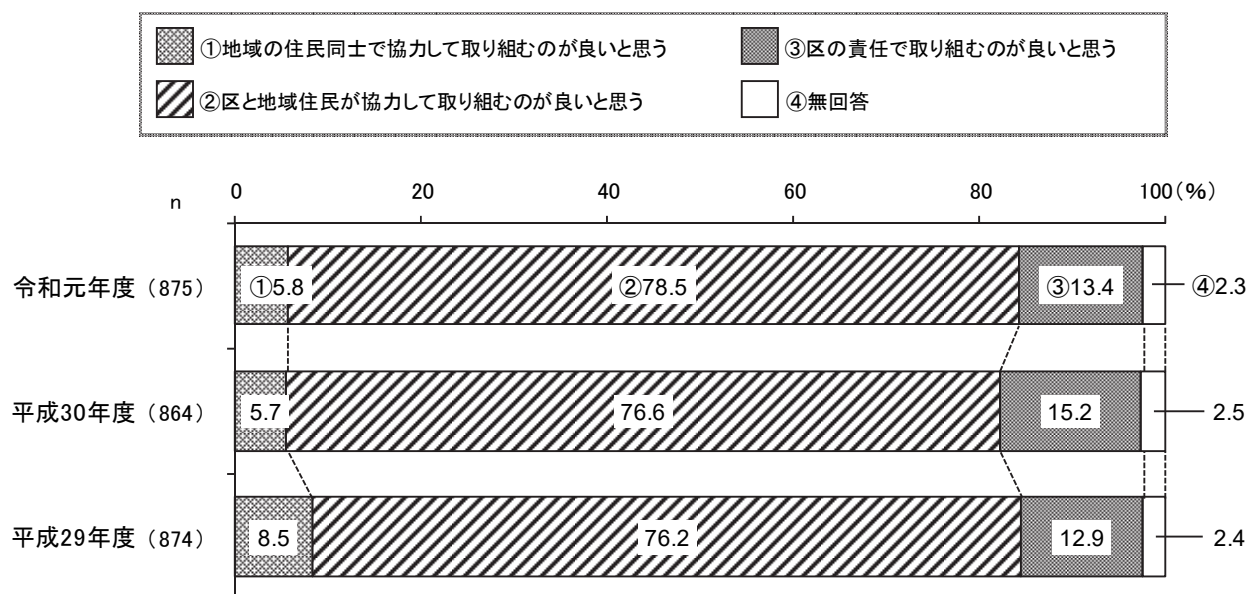
(1) 高齢者・障害者の見守りに関する意識

◎「区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う」が8割近く

問1 あなたは、高齢者や障害のある人などを見守り支えるための取り組みを、どのように推進していくのが良いと思いますか。(〇は1つ)

	(n=875)
1 地域の住民同士で協力して取り組むのが良いと思う	5.8%
2 区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う	78.5
3 区の責任で取り組むのが良いと思う	13.4
無回答	2.3

図1-1-1 高齢者・障害者の見守りに関する意識
(経年推移)



高齢者・障害者の見守りに関する意識について、「区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う」(78.5%)が8割近くで最も高くなっている。

過去3年間の経年推移をみると、割合に大きな変化はみられない。(図1-1-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
区民の地域福祉活動への協働意識	「高齢者の見守りを住民同士で行う」と考える区民の割合	支え合いの仕組みづくりの進捗度を表すため	8.5%	5.8%	20.0%

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

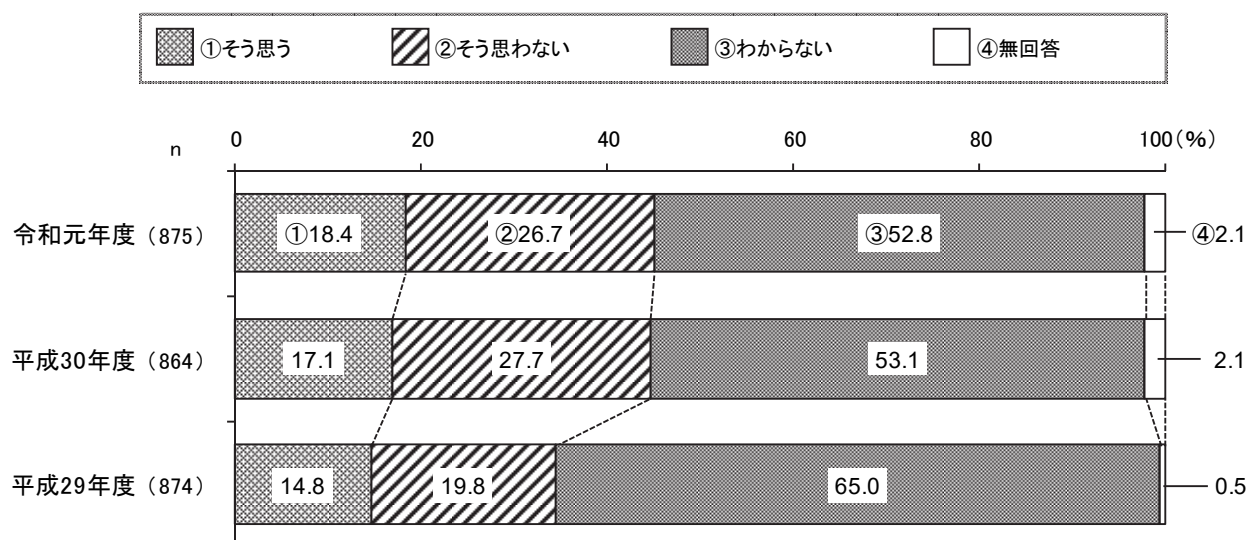
<障害者福祉>

（１）障害者の社会参加のしやすさ

◎「そう思う」が２割近く

問２ 新宿のまちは、障害があっても積極的に社会参加しやすいまちだと思いますか。 （○は１つ）		(n=875)
１ そう思う		18.4%
２ そう思わない		26.7
３ わからない		52.8
無回答		2.1

図１－２－１ 障害者の社会参加のしやすさ
（経年推移）



障害者の社会参加のしやすさについて、「そう思う」（18.4％）が２割近く、「そう思わない」（26.7％）が２割台半ばを超え、「わからない」（52.8％）が５割強となっている。

過去３年間の経年推移をみると、「そう思う」では、平成２９年度（14.8％）から令和元年度（18.4％）にかけて３.６ポイント高くなっている。（図１－２－１）

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
障害者の社会参加のしやすさ	障害があっても積極的に社会参加しやすいまちだと思う割合	障害者の自立と社会参加がしやすいまちの実現につながるため	14.8%	18.4%	増加

(2) 障害者が社会参加しやすいまちだと思ふ点

◎「公共の施設等にエレベーターなどの設置が進んでいるから」が約7割

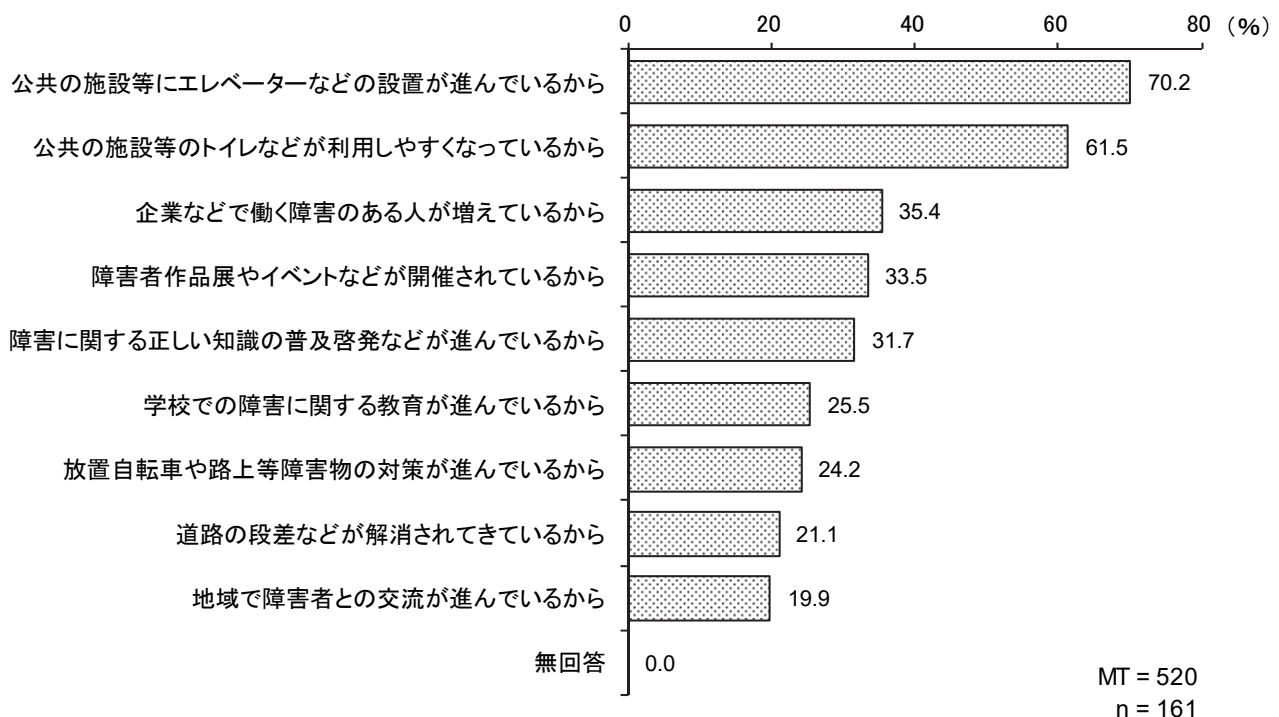
問2-1 問2で、「1」に○をした方にお伺いします。

どのような点でそう思いますか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

	(n=161)
1 障害に関する正しい知識の普及啓発などが進んでいるから	31.7%
2 企業などで働く障害のある人が増えているから	35.4
3 学校での障害に関する教育が進んでいるから	25.5
4 地域で障害者との交流が進んでいるから	19.9
5 障害者作品展やイベントなどが開催されているから	33.5
6 公共の施設等にエレベーターなどの設置が進んでいるから	70.2
7 公共の施設等のトイレなどが利用しやすくなっているから	61.5
8 放置自転車や路上等障害物の対策が進んでいるから	24.2
9 道路の段差などが解消されてきているから	21.1
無回答	0.0

図1-2-2 障害者が社会参加しやすいまちだと思ふ点



障害者が社会参加しやすいまちだと思ふ点について、「公共の施設等にエレベーターなどの設置が進んでいるから」(70.2%)が約7割で最も高く、次いで「公共の施設等のトイレなどが利用しやすくなっているから」(61.5%)が6割強、「企業などで働く障害のある人が増えているから」(35.4%)が3割台半ば、「障害者作品展やイベントなどが開催されているから」(33.5%)が3割台半ば近くと続いている。(図1-2-2)

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

（３）「障害者差別解消法」の認知状況

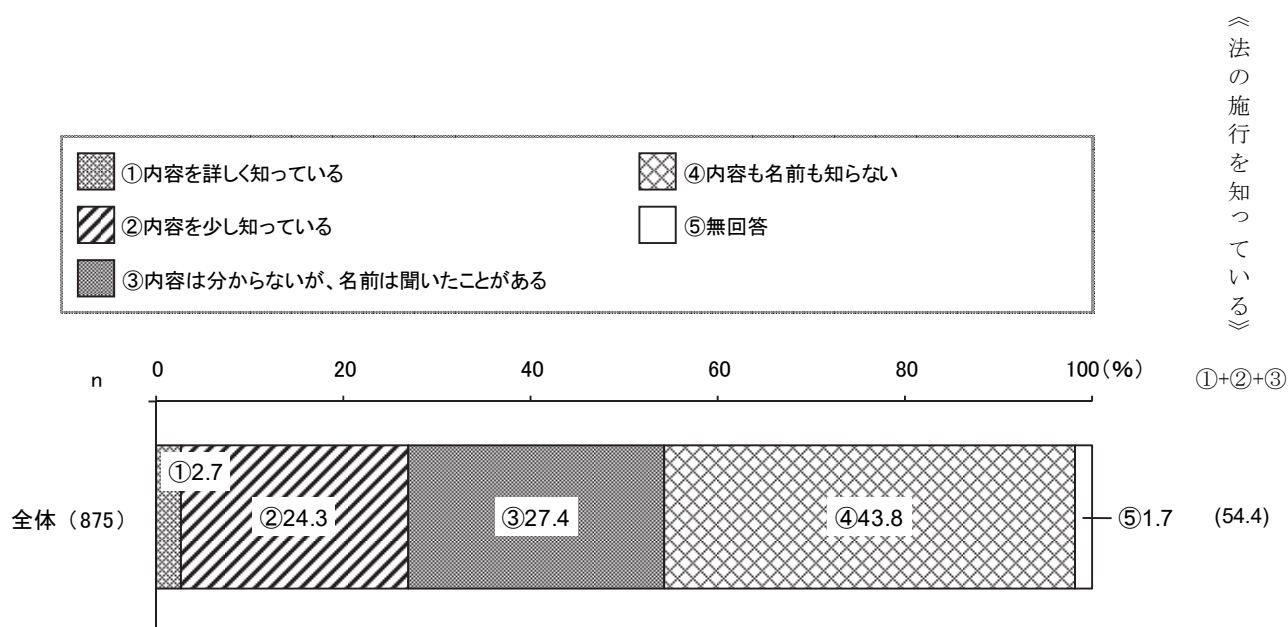
◎「障害者差別解消法」の《法の施行を知っている》が５割台半ば近く

問３ 平成２８年４月に「障害者差別解消法」が施行され、行政機関や民間事業者に対して、障害を理由とした差別の禁止や障害特性に合わせた配慮（合理的配慮）の提供が求められることになりました。あなたは、この法律について知っていますか。（○は１つ）

(n=875)

１ 内容を詳しく知っている	2.7%
２ 内容を少し知っている	24.3
３ 内容は分からないが、名前は聞いたことがある	27.4
４ 内容も名前も知らない	43.8
無回答	1.7

図１－２－３ 「障害者差別解消法」の認知状況



「障害者差別解消法」の認知状況について、「内容を詳しく知っている」（2.7%）と「内容を少し知っている」（24.3%）と「内容は分からないが、名前は聞いたことがある」（27.4%）を合わせた《法の施行を知っている》（54.4%）が５割台半ば近くとなっている。（図１－２－３）

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
障害者差別解消法 認知度	障害者差別解消法の施行を知っている人の割合	障害者が住み慣れた地域で暮らし続けられるまちの実現につながるため	44.7%	54.4%	増加

<地域活動>**(1) 地域活動への参加**

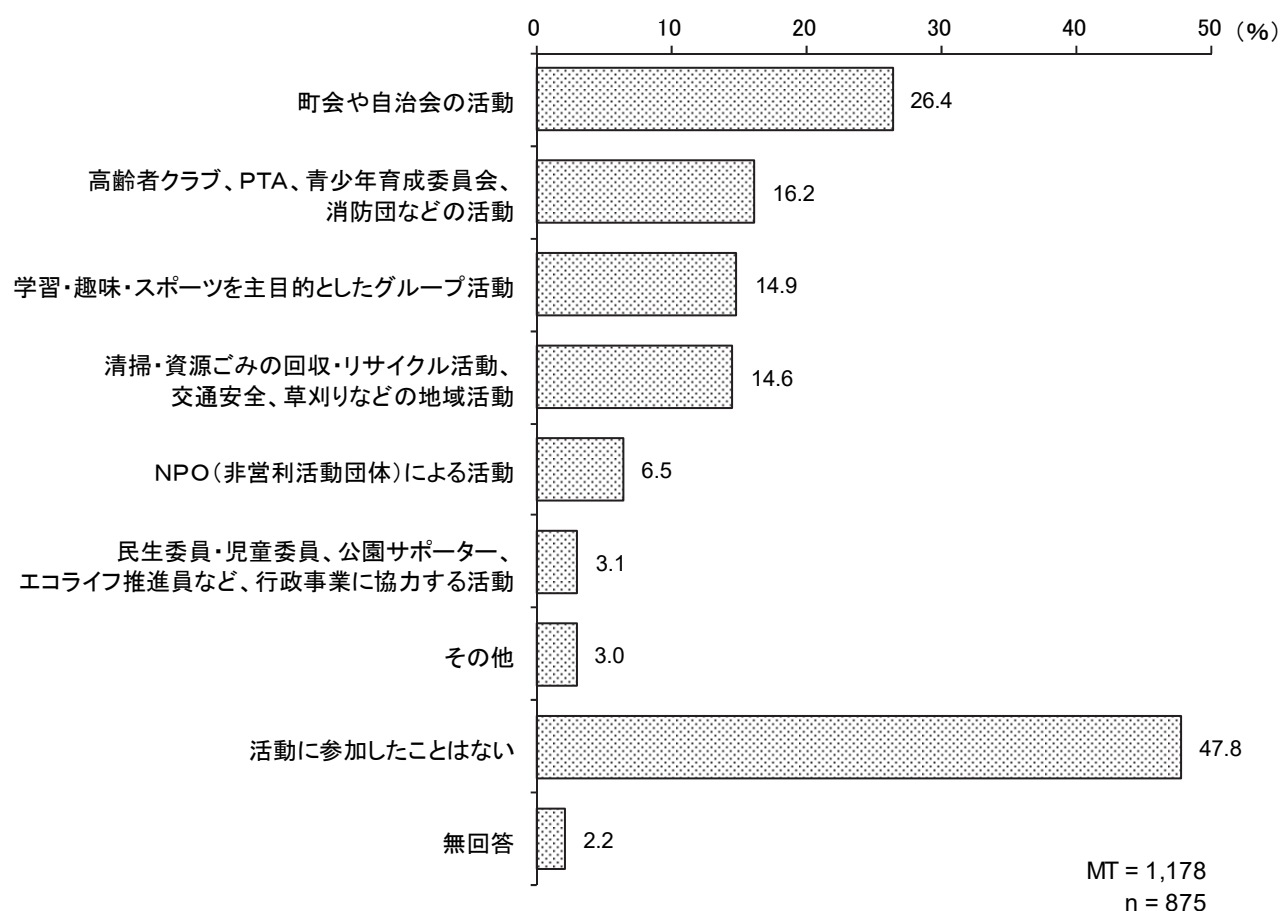
- ◎「町会や自治会の活動」が2割台半ばを超え、
「活動に参加したことはない」は4割台半ばを超え

問4 次の地域活動・ボランティア活動のうち、参加している（したことがある）ものに ○をつけてください。（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）	
	(n=875)
1 町会や自治会の活動（おまつりの手伝いや防災訓練、ゴミの分別回収や 不用品のリサイクル活動、通学時などのパトロールなども含む）	26.4%
2 高齢者クラブ、PTA、青少年育成委員会、消防団などの活動	16.2
3 民生委員・児童委員、公園サポーター、エコライフ推進員など、 行政事業に協力する活動	3.1
4 学習・趣味・スポーツを主目的としたグループ活動	14.9
5 清掃・資源ごみの回収・リサイクル活動、交通安全、草刈りなどの地域活動	14.6
6 NPO（非営利活動団体）による活動	6.5
7 その他	3.0
8 活動に参加したことはない	47.8
無回答	2.2

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

図 1-3-1-1 地域活動への参加



地域活動への参加について、「町会や自治会の活動（おまつりの手伝いや防災訓練、ゴミの分別回収や不用品のリサイクル活動、通学時などのパトロールなども含む）」（26.4%）が2割台半ばを超えて最も高く、次いで「高齢者クラブ、PTA、青少年育成委員会、消防団などの活動」（16.2%）が1割台半ばを超えている。

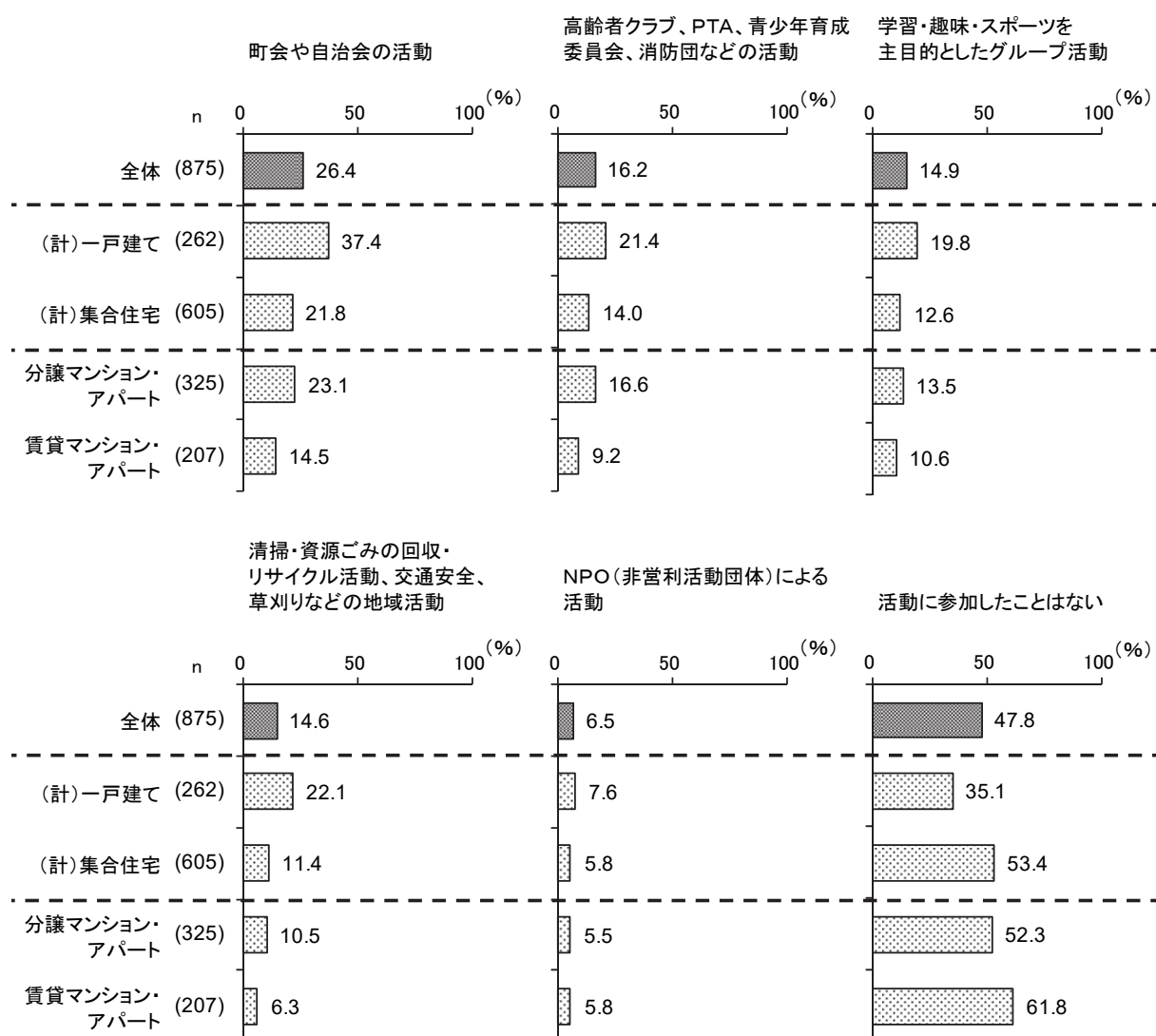
一方、「活動に参加したことはない」（47.8%）が4割台半ばを超えている。

（図 1-3-1-1）

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
地域コミュニティ活動への参加率	地域の中でコミュニティ活動を行っている人の割合	区民が自ら考え行動する、区民が主役の自治のまちの実現につながるため	50.0%	50.0%	60.0%

図1-3-1-2 地域活動への参加（住居形態別）
上位5項目＋「活動に参加したことはない」



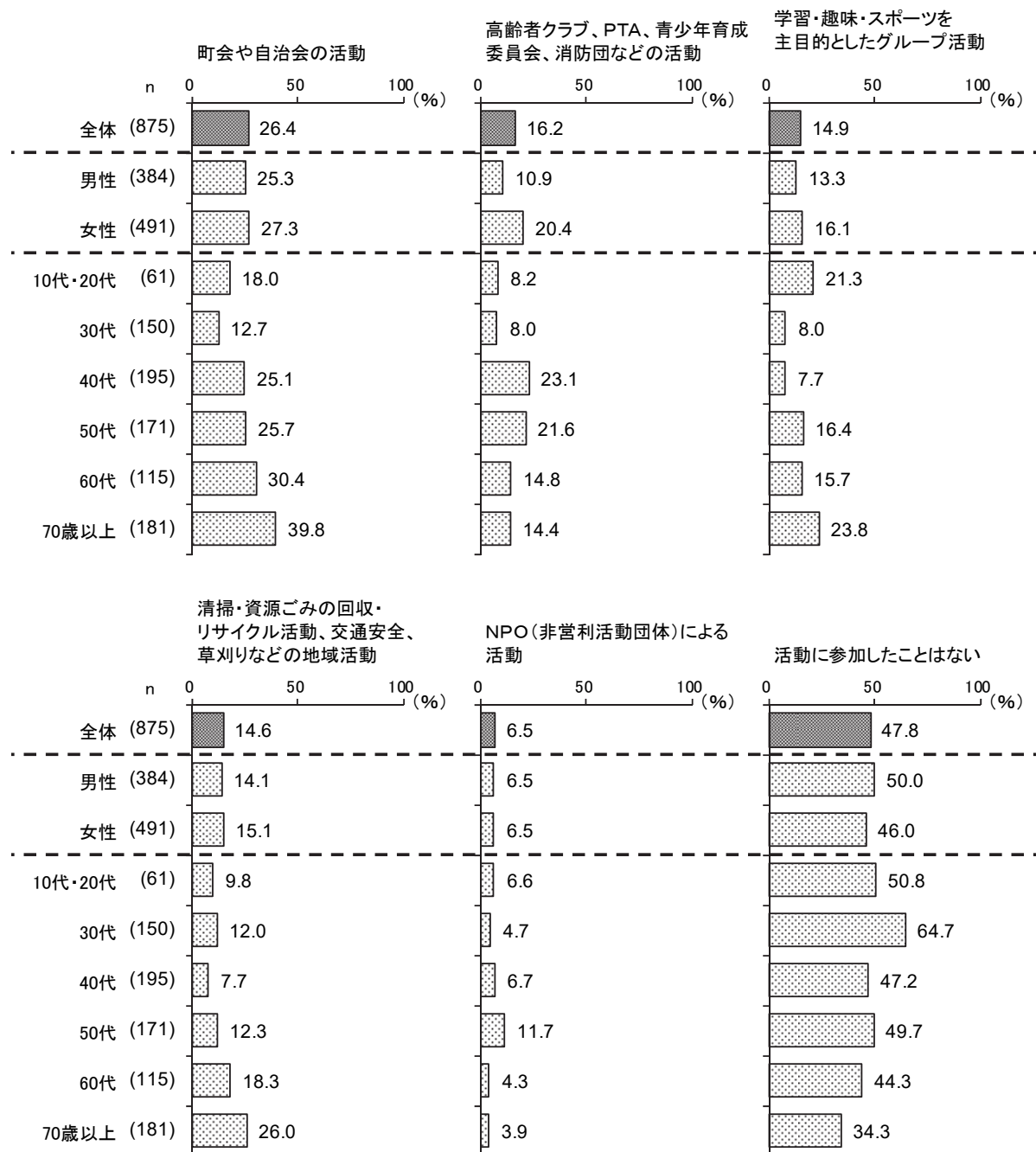
上位5項目と「活動に参加したことはない」について、住居形態別にみると、「町会や自治会の活動」では、(計)一戸建て(37.4%)が3割台半ばを超え、(計)集合住宅(21.8%)を15.6ポイント上回っている。

「活動に参加したことはない」では、賃貸マンション・アパート(61.8%)が6割強で、全体(47.8%)を14.0ポイント上回っている。(図1-3-1-2)

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

図 1-3-1-3 地域活動への参加
(性別・年代別)
上位 5 項目 + 「活動に参加したことはない」



上位 5 項目と「活動に参加したことはない」について、性別でみると、「高齢者クラブ、PTA、青少年育成委員会、消防団などの活動」では、女性（20.4%）が約 2 割と、男性（10.9%）を 9.5 ポイント上回っている。

年代別にみると、「清掃・資源ごみの回収・リサイクル活動、交通安全、草刈りなどの地域活動」では、70 歳以上（26.0%）が 2 割台半ばを超え、全体（14.6%）を 11.4 ポイント上回っている。

「活動に参加したことはない」では 30 代（64.7%）が 6 割台半ば近くと、全体（47.8%）を 16.9 ポイント上回っている。（図 1-3-1-3）

基本政策Ⅱ 新宿の高度防災都市化と安全安心の強化

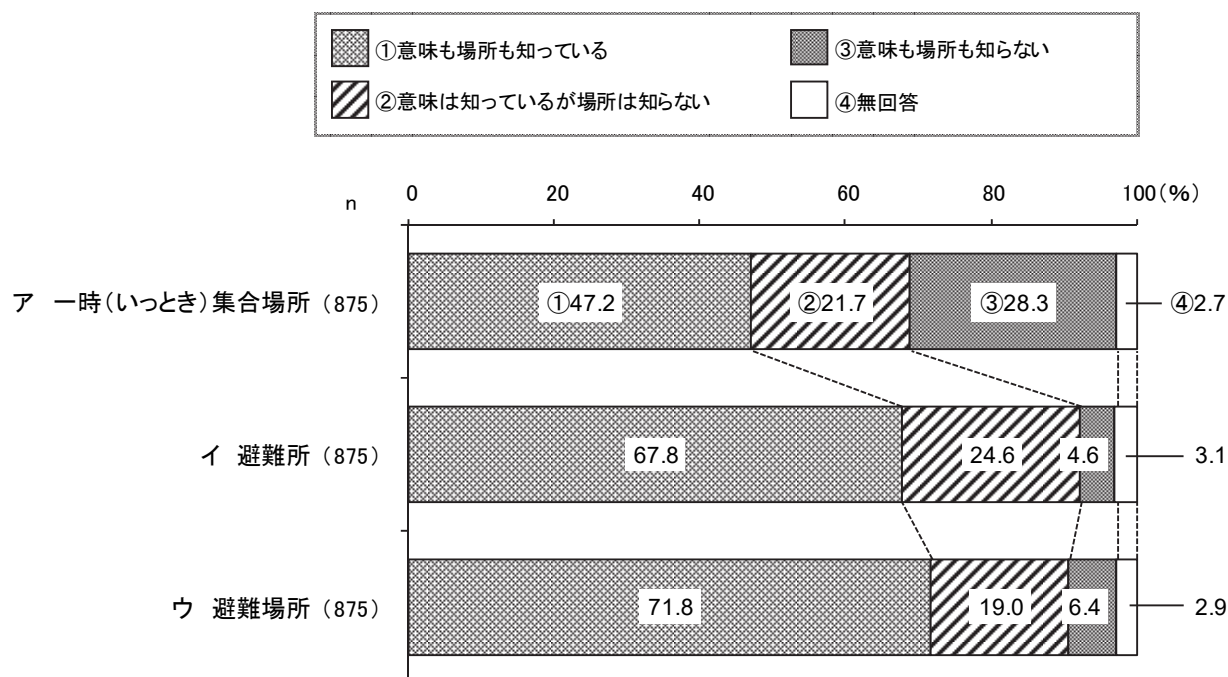
<防災対策>

(1) 避難場所・避難所の認知度

◎「意味も場所も知っている」は『避難場所』が7割強

問5 あなたは、地震などの災害が発生した際、安全を確保するために避難する、以下のア～ウの場所について、その意味とどこにあるかをご存知ですか。 (ア～ウそれぞれで、あてはまるものに1つ○をつけてください)				
	(n=875)			
	意味も場所も知っている	意味は知っているが場所知らない	意味も場所も知らない	無回答
ア 一時(いつとき)集合場所	47.2%	21.7%	28.3%	2.7%
イ 避難所	67.8	24.6	4.6	3.1
ウ 避難場所	71.8	19.0	6.4	2.9

図2-1-1-1 避難場所・避難所の認知度



避難場所・避難所の認知度について、「意味も場所も知っている」は『避難場所』(71.8%)が7割強で最も高く、『避難所』(67.8%)が6割台半ばを超えている。

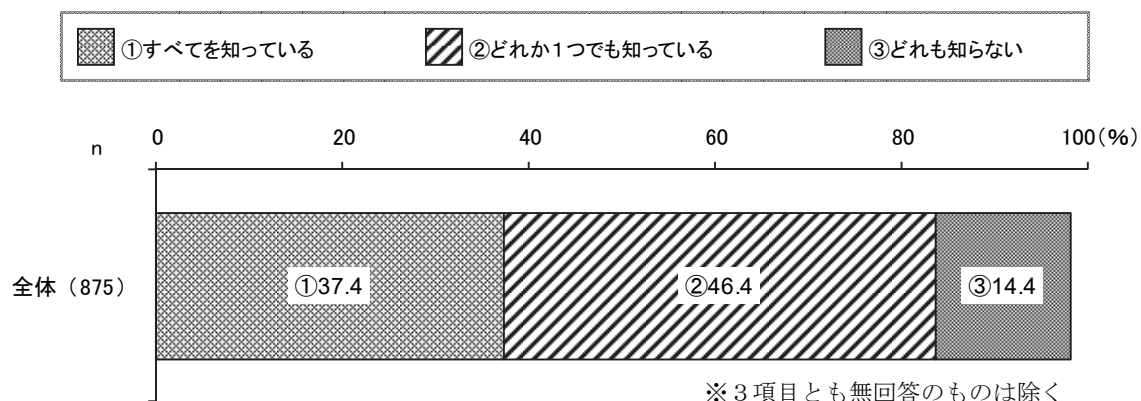
一方、「意味も場所も知らない」は『一時(いつとき)集合場所』(28.3%)が3割近くとなっている。(図2-1-1-1)

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

図 2-1-1-2 避難場所・避難所の認知度

3 項目の場所の認知について再分類※



※避難場所・避難所の認知度 3 項目の再分類

『一時集合場所』『避難所』『避難場所』の3項目について、「意味も場所も知っている」を《知っている》、「意味は知っているが場所は知らない」および「意味も場所も知らない」を《知らない》とし、「すべてを知っている」、「どれか1つでも知っている」、「どれも知らない」に再分類した。

3 項目の避難場所・避難所の場所をいくつ知っているかについて、「すべてを知っている」(37.4%) が3割台半ばを超え、「どれか1つでも知っている」(46.4%) が4割台半ばを超え、「どれも知らない」(14.4%) が1割台半ば近くとなっている。(図 2-1-1-2)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
避難場所・避難所の理解度	一時集合場所、一次避難所、避難場所を理解している区民の割合	区民への防災意識や知識の普及啓発の取組成果を表すため	49.1%	37.4%	80.0%

(2) 家庭内の防災対策

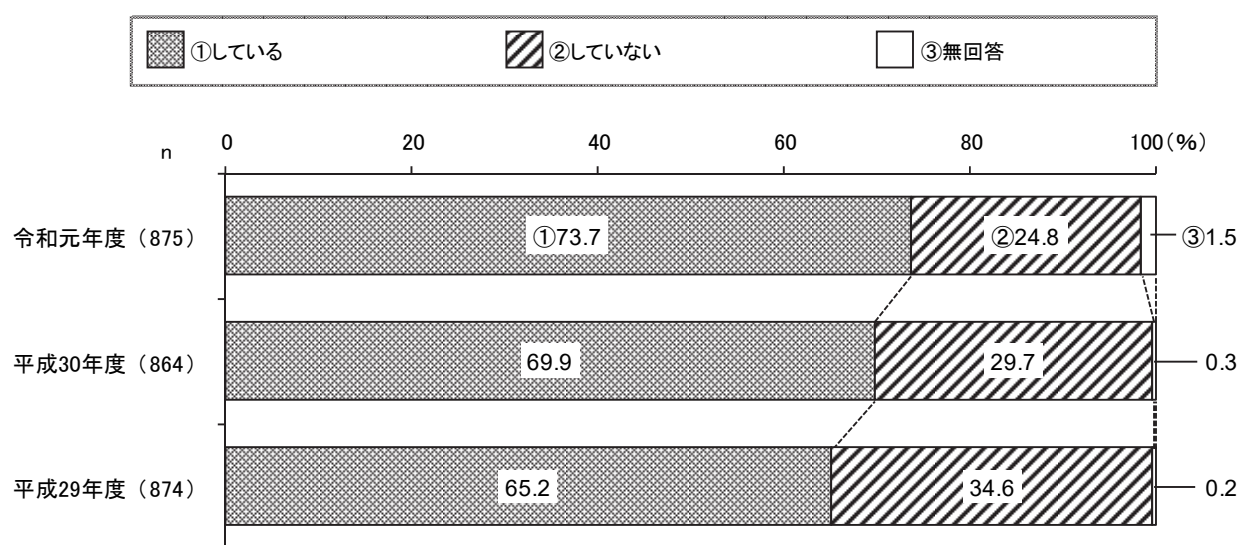
◎「している」が7割台半ば近く

問6 あなたのご家庭では、日ごろ防災対策をしていますか。(○は1つ)

(n=875)

1 している	73.7%
2 していない	24.8
無回答	1.5

図2-1-2 家庭内の防災対策
(経年推移)



家庭内の防災対策について、「している」(73.7%)が7割台半ば近く、「していない」(24.8%)は2割台半ば近くとなっている。

過去3年間の経年推移をみると、「している」では、平成29年度(65.2%)から令和元年度(73.7%)にかけて8.5ポイント高くなっている。(図2-1-2)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
家庭内の防災対策の普及	家庭内の防災対策実施率	区民への防災意識の普及啓発や防災用品の支援などの取組成果を表すため	65.2%	73.7%	90.0%

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

（３）防災対策の内容

◎「食料、飲料水の備蓄」が約９割

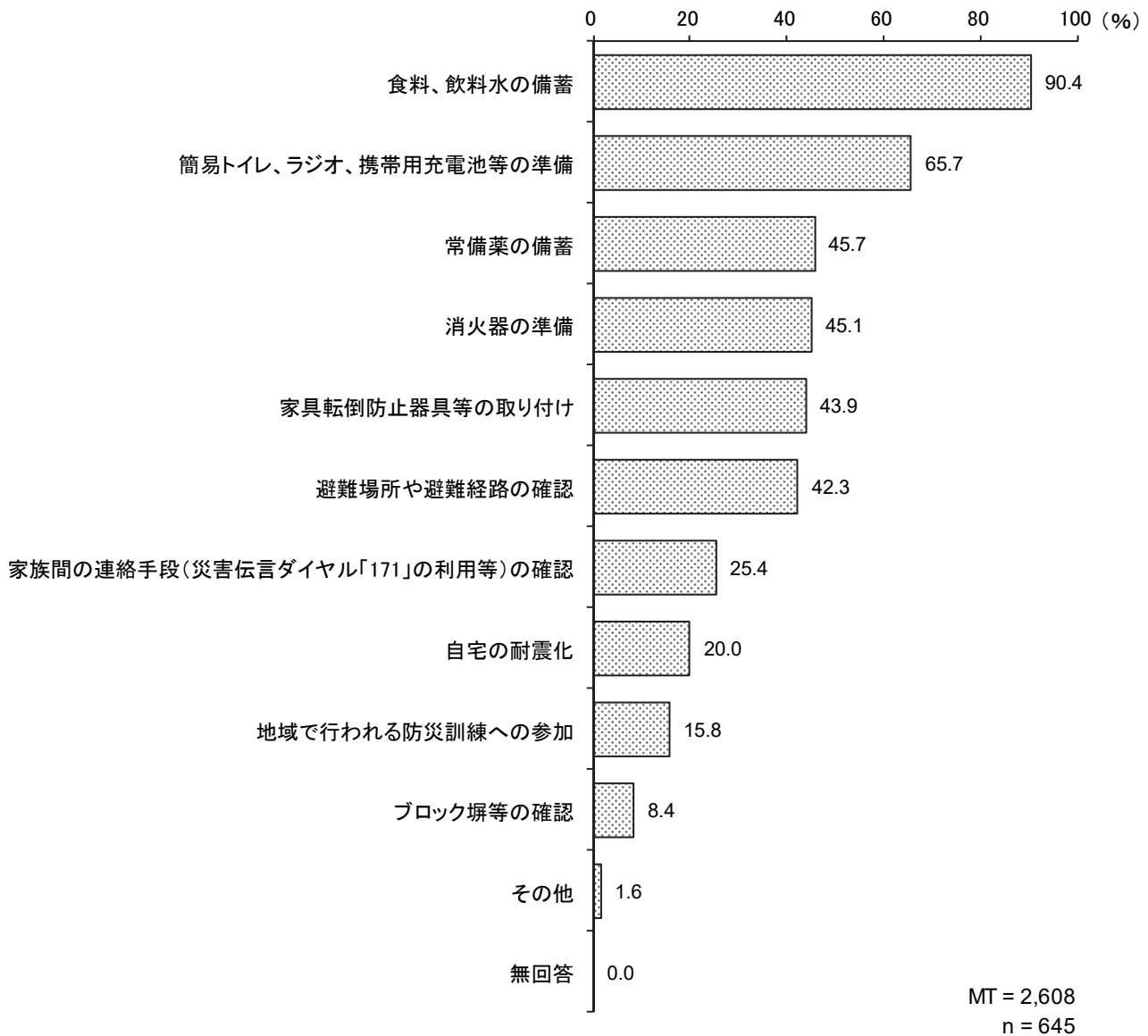
問６－１ 問６で、「１」に○をした方にお伺いします。

どのような対策をしていますか。

（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

	(n= 645)
１ 食料、飲料水の備蓄	90.4%
２ 簡易トイレ、ラジオ、携帯用充電機等の準備	65.7
３ 常備薬の備蓄	45.7
４ 消火器の準備	45.1
５ 家具転倒防止器具等の取り付け	43.9
６ 避難場所や避難経路の確認	42.3
７ 家族間の連絡手段（災害伝言ダイヤル「171」の利用等）の確認	25.4
８ 自宅の耐震化	20.0
９ ブロック塀等の確認	8.4
10 地域で行われる防災訓練への参加	15.8
11 その他	1.6
無回答	0.0

図 2－1－3 防災対策の内容



防災対策の内容について、「食料、飲料水の備蓄」(90.4%)が約9割で最も高く、次いで「簡易トイレ、ラジオ、携帯用充電機等の準備」(65.7%)が6割台半ば、「常備薬の備蓄」(45.7%)および「消火器の準備」(45.1%)がともに4割台半ばと続いている。(図 2－1－3)

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

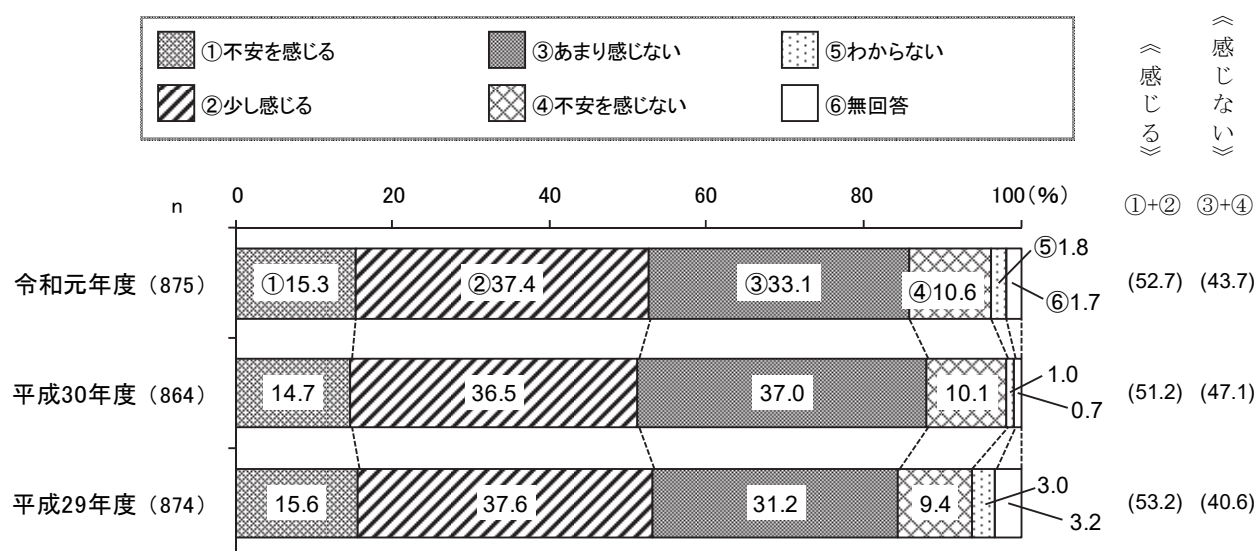
<安全・安心>

（１）犯罪への不安

◎不安を《感じる》が４割台半ば近く

問７ あなたは、お住まいの地域で、犯罪への不安を感じることがありますか。（○は１つ）	
	(n=875)
１ 不安を感じる	15.3%
２ 少し感じる	37.4
３ あまり感じない	33.1
４ 不安を感じない	10.6
５ わからない	1.8
無回答	1.7

図２－２－１ 犯罪への不安
（経年推移）



犯罪への不安について、「不安を感じる」（15.3%）と「少し感じる」（37.4%）を合わせた《感じる》（52.7%）が５割強、「あまり感じない」（33.1%）と「不安を感じない」（10.6%）を合わせた《感じる》（43.7%）が４割台半ば近くとなっている。

過去３年間の経年推移をみると、《感じる》では、平成３０年度（47.1%）から令和元年度（43.7%）にかけて３.４ポイント低くなっている。（図２－２－１）

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
区民の日常生活における安心度	居住地域で犯罪への不安を感じない区民の割合	安全で安心な暮らしやすいまちの実現に向けたため	40.6%	43.7%	増加

(2) 不安を感じる理由

◎「事件に関する報道が多いから」が5割強

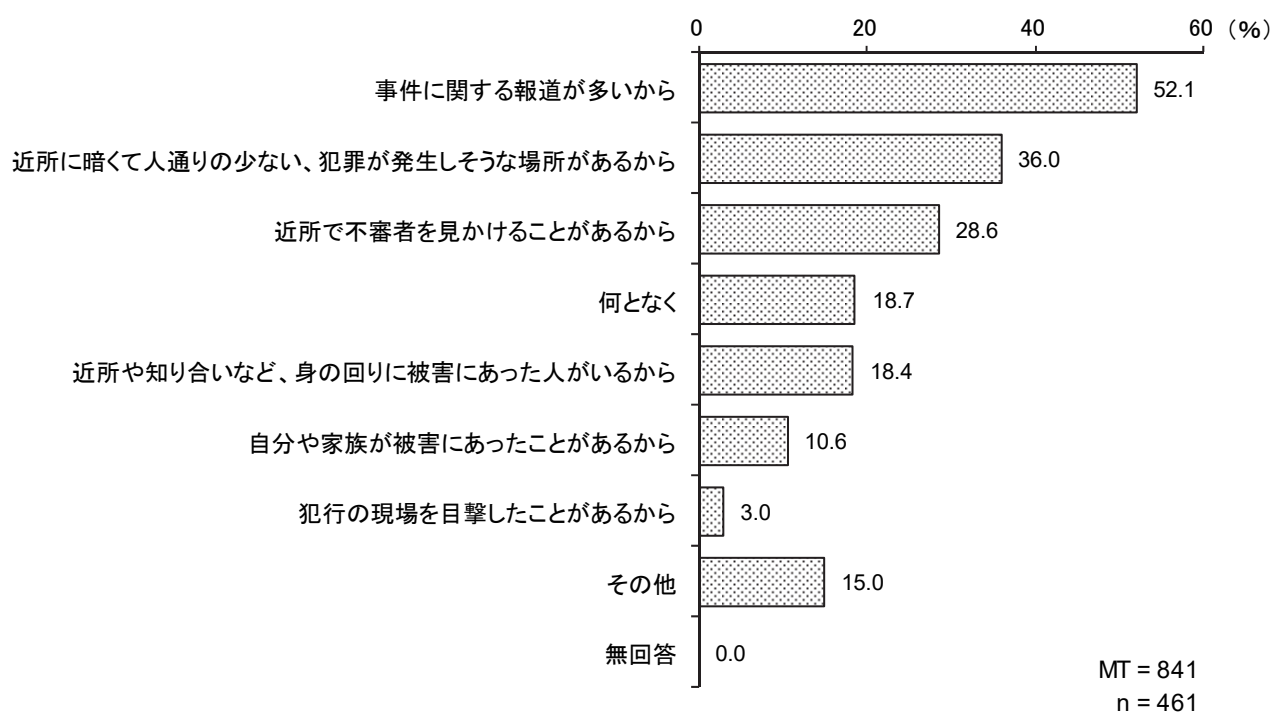
問7-1 問7で、「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

不安を感じる理由は何ですか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

	(n=461)
1 事件に関する報道が多いから	52.1%
2 近所に暗くて人通りの少ない、犯罪が発生しそうな場所があるから	36.0
3 近所や知り合いなど、身の回りに被害にあった人がいるから	18.4
4 近所で不審者を見かけることがあるから	28.6
5 自分や家族が被害にあったことがあるから	10.6
6 犯行の現場を目撃したことがあるから	3.0
7 何となく	18.7
8 その他	15.0
無回答	0.0

図2-2-2 不安を感じる理由



不安を感じる理由としては、「事件に関する報道が多いから」(52.1%)が5割強で最も高く、次いで「近所に暗くて人通りの少ない、犯罪が発生しそうな場所があるから」(36.0%)が3割台半ばを超え、「近所で不審者を見かけることがあるから」(28.6%)が3割近くと続いている。

(図2-2-2)

Ⅱ 調査の結果

『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～

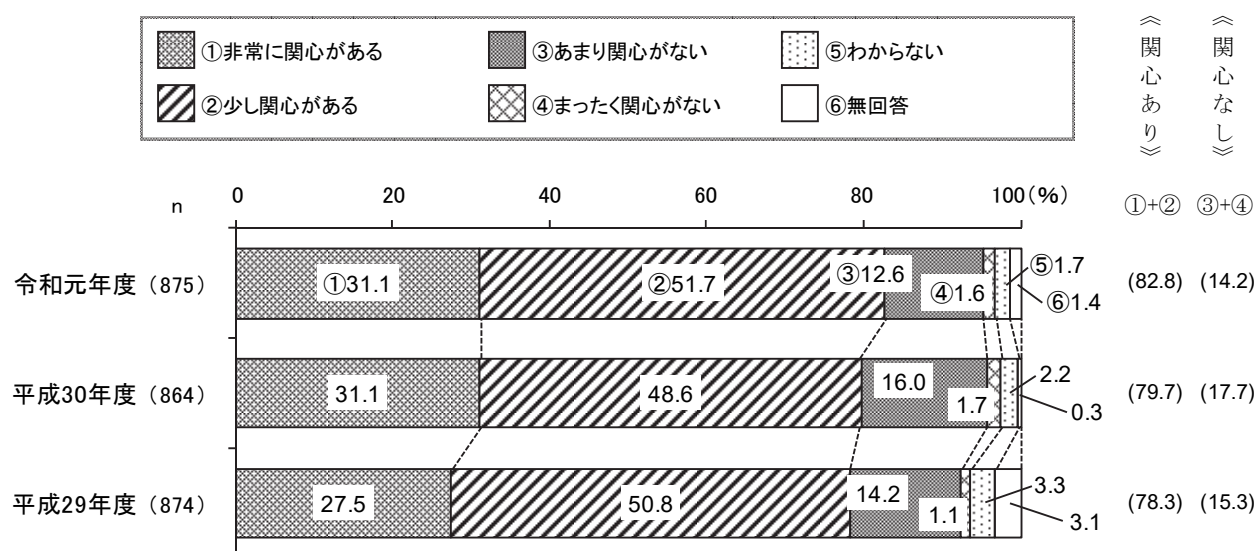
<安全な消費生活>

(1) 消費者問題への関心度

◎《関心あり》が8割強

問8 あなたは、悪質商法の被害防止や消費生活上のトラブル解決に対して関心がありますか。 (○は1つ)	
	(n=875)
1 非常に関心がある	31.1%
2 少し関心がある	51.7
3 あまり関心がない	12.6
4 まったく関心がない	1.6
5 わからない	1.7
無回答	1.4

図2-3-1 消費者問題への関心度
(経年推移)



消費者問題への関心度について、「非常に関心がある」(31.1%)と「少し関心がある」(51.7%)を合わせた《関心あり》(82.8%)が8割強となっている。

過去3年間の経年推移をみると、《関心あり》では、平成29年度(78.3%)から令和元年度(82.8%)にかけて4.5ポイント高くなっている。(図2-3-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
消費者問題に対する関心度	悪質商法や消費者問題に対して関心がある区民の割合	情報提供や普及啓発の取組の成果を表すため	78.3%	82.8%	85.0%

(2) 区の消費生活センターへの相談

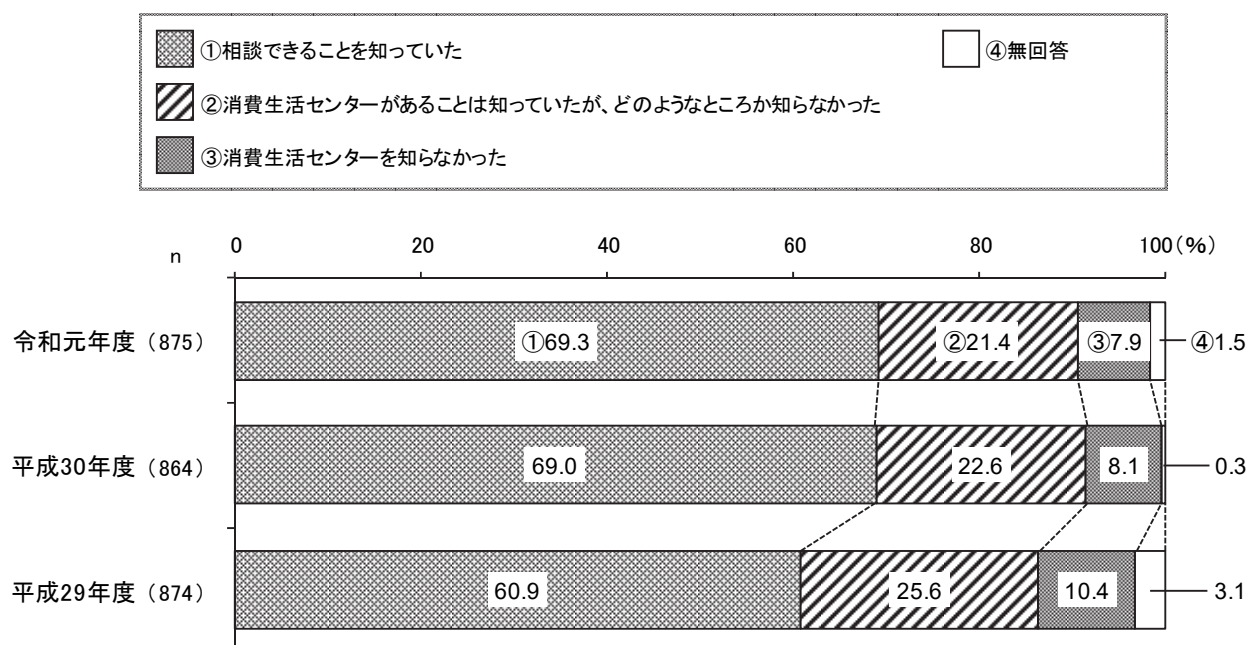
◎「相談できることを知っていた」が7割弱

問9 あなたは、契約のトラブルなどで困ったときに区の消費生活センターに相談できることを知っていましたか。(〇は1つ)

(n=875)

1 相談できることを知っていた	69.3%
2 消費生活センターがあることは知っていたが、どのようなところか知らなかった	21.4
3 消費生活センターを知らなかった	7.9
無回答	1.5

図2-3-2 区の消費生活センターへの相談
(経年推移)



区の消費生活センターへの相談について、「相談できることを知っていた」(69.3%)が7割弱、「消費生活センターがあることは知っていたが、どのようなところか知らなかった」(21.4%)が2割強となっている。

過去3年間の経年推移をみると、「相談できることを知っていた」では、平成29年度(60.9%)から令和元年度(69.3%)にかけて8.4ポイント高くなっている。(図2-3-2)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
消費生活センターの認知度	契約のトラブルなどで困った時に消費生活センターに相談できることを知っている区民の割合	契約のトラブルなどで困った時に消費生活センターに相談できることを知っていることが、消費者被害の未然防止及び被害者救済につながるため	60.9%	69.3%	70.0%

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

<感染症予防>

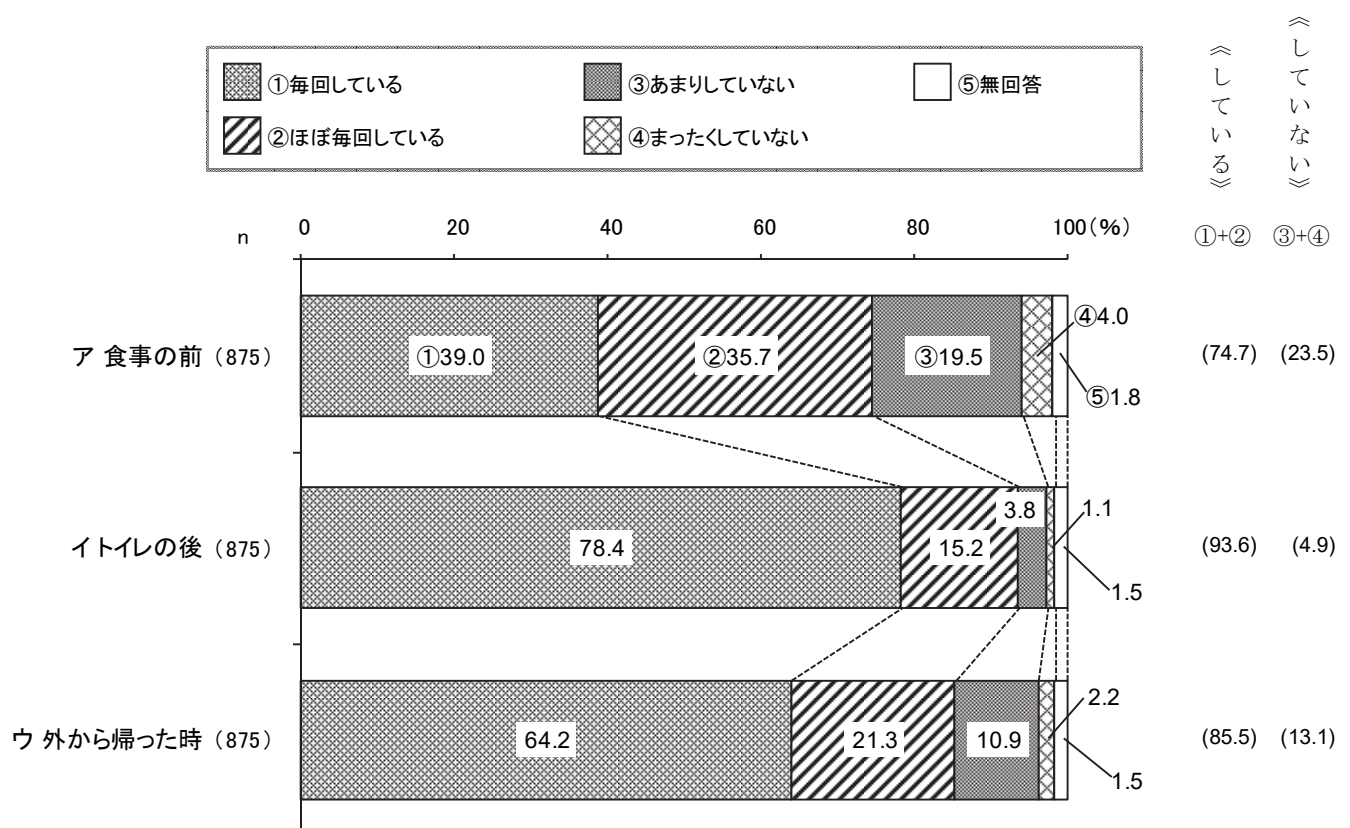
（１）手洗い習慣

◎「毎回している」は『トイレの後』が８割近く

問１０ インフルエンザ等の感染症や食中毒を予防するための習慣として、 次のようなときに流水で手洗いをしていますか。 (ア～ウそれぞれで、あてはまるものに１つ○をつけてください)					
	毎回している	ほぼ毎回している	あまりしていない	まったくしていない	無回答
ア 食事の前	39.0%	35.7%	19.5%	4.0%	1.8%
イ トイレの後	78.4	15.2	3.8	1.1	1.5
ウ 外から帰った時	64.2	21.3	10.9	2.2	1.5

(n=875)

図２－４－１ 手洗い習慣



手洗い習慣について、「毎回している」は『トイレの後』（78.4%）が8割近くで最も高く、次いで『外から帰った時』（64.2%）が6割台半ば近く、『食事の前』（39.0%）が4割弱となっている。

「毎回している」と「ほぼ毎回している」を合わせた《している》は、『トイレの後』（93.6%）が9割台半ば近くで最も高く、次いで『外から帰った時』（85.5%）が8割台半ば、『食事の前』（74.7%）が7割台半ば近くとなっている。

一方、「あまりしていない」と「まったくしていない」を合わせた《していない》は、『食事の前』（23.5%）が2割台半ば近くとなっている。（図2-4-1）

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名		指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
感染の予防行動 1) 手洗い実施率		感染の予防行動をとっている区民の割合	感染症対策に関する情報提供や普及啓発の成果を表すため	84.2%	84.6%	90.0%

Ⅱ 調査の結果

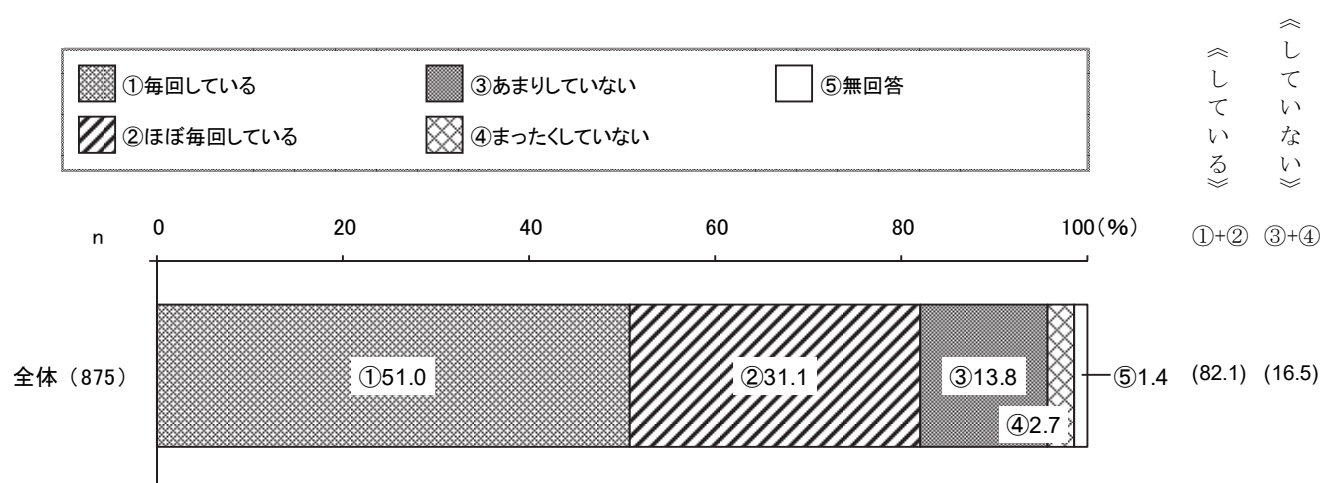
（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

（２）「咳エチケット」の実施

◎「毎回している」が５割強

問１１ 咳・くしゃみの症状がある時、マスク等で鼻や口を覆う「咳エチケット」をしていますか。（○は１つ）		(n=875)
１ 毎回している		51.0%
２ ほぼ毎回している		31.1
３ あまりしていない		13.8
４ まったくしていない		2.7
無回答		1.4

図２－４－２ 「咳エチケット」の実施



「咳エチケット」の実施について、「毎回している」（51.0％）が５割強、「ほぼ毎回している」（31.1％）が３割強、「あまりしていない」（13.8％）が１割台半ば近くとなっている。

「毎回している」（51.0％）と「ほぼ毎回している」（31.1％）を合わせた《している》（82.1％）が８割強となっている。（図２－４－２）

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
感染の予防行動 ２) 咳エチケット 実施率	感染の予防行動をとっている区民の割合	感染症対策に関する情報提供や普及啓発の成果を表すため	77.7%	82.1%	85.0%

(3) 食の安全に関する正しい知識や情報の保有状況

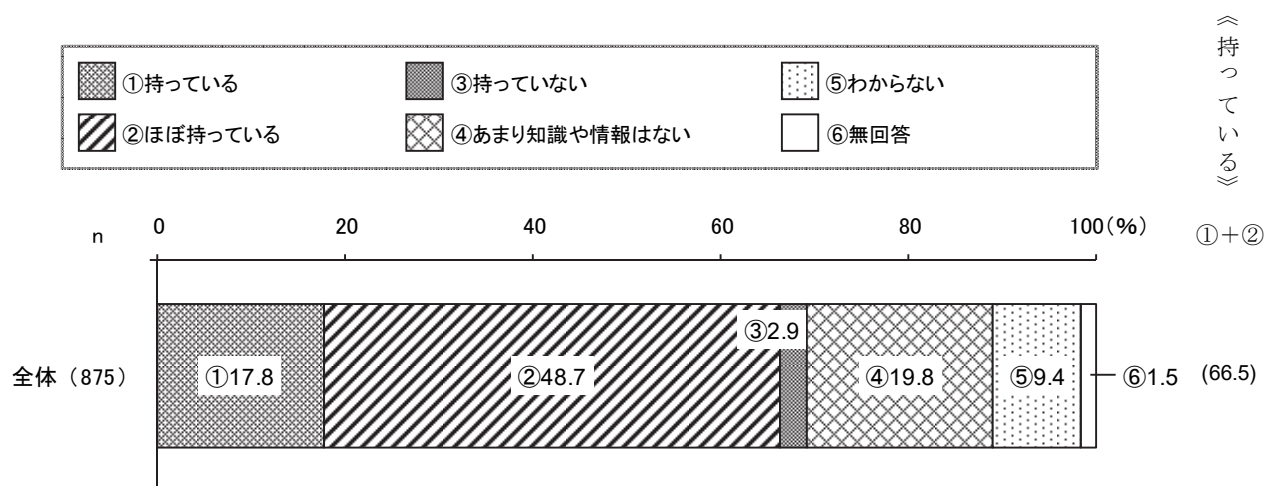
◎《持っている》が6割台半ばを超え

問12 あなたは、食の安全に関する正しい知識や情報を持っていますか。

(○は1つ)

	(n=875)
1 持っている	17.8%
2 ほぼ持っている	48.7
3 持っていない	2.9
4 あまり知識や情報はない	19.8
5 わからない	9.4
無回答	1.5

図2-4-3 食の安全に関する正しい知識や情報の保有状況



食の安全に関する正しい知識や情報の保有状況について、「ほぼ持っている」(48.7%)が5割近く、「あまり知識や情報はない」(19.8%)が2割弱となっている。

「持っている」(17.8%)と「ほぼ持っている」(48.7%)を合わせた《持っている》(66.5%)が6割台半ばを超えている。(図2-4-3)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
食の安全に関する 関心度	食中毒の予防や食品の安全に対して 正しい知識を持つ区民の割合	食品の安全に関する情報提供や 普及啓発の成果を表すため	65.8%	66.5%	80.0%

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

基本政策Ⅲ 賑わい都市・新宿の創造

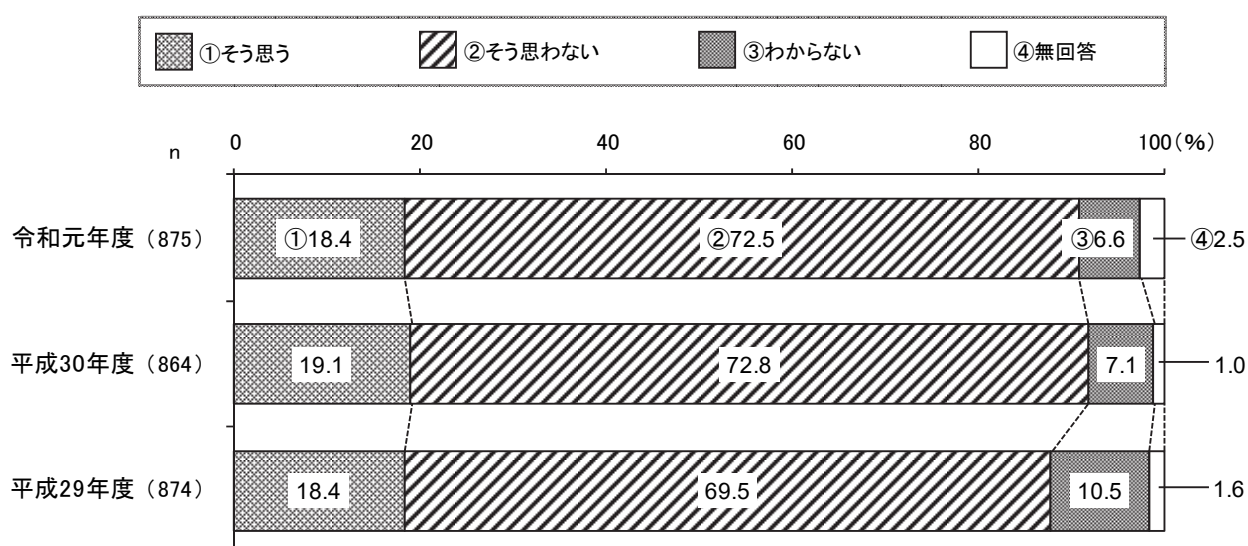
<新宿駅周辺の回遊性>

（１）新宿駅周辺の歩きやすさ

◎「そう思わない」が7割強

問 1 3 新宿駅周辺は、歩きやすいまちと感じますか。（○は1つ）		(n=875)
1	そう思う	18.4%
2	そう思わない	72.5
3	わからない	6.6
	無回答	2.5

図 3-1-1 新宿駅周辺の歩きやすさ
(経年推移)



新宿駅周辺の歩きやすさについて、「そう思わない」(72.5%)が7割強、「そう思う」(18.4%)が2割近くとなっている。

過去3年間の経年推移をみると、「そう思わない」では、平成29年度(69.5%)から令和元年度(72.5%)にかけて3.0ポイント高くなっている。(図3-1-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
新宿駅周辺の回遊の しやすさに対する 満足度	新宿駅周辺(東口・西口・南口など) が、訪れる人にとって、それぞれア クセスしやすいと思う区民の割合	新宿駅周辺の回遊のしやすさが利便性 の向上を表すとともに、魅力的で歩いて 楽しいまちの実現につながるため	18.4%	18.4%	30.0%

(2) 新宿駅周辺が歩きにくいと思う理由

◎「歩行者空間が少なく、混雑している」が7割台半ば近く

問13-1 問13で、「2」に○をした方にお伺いします。

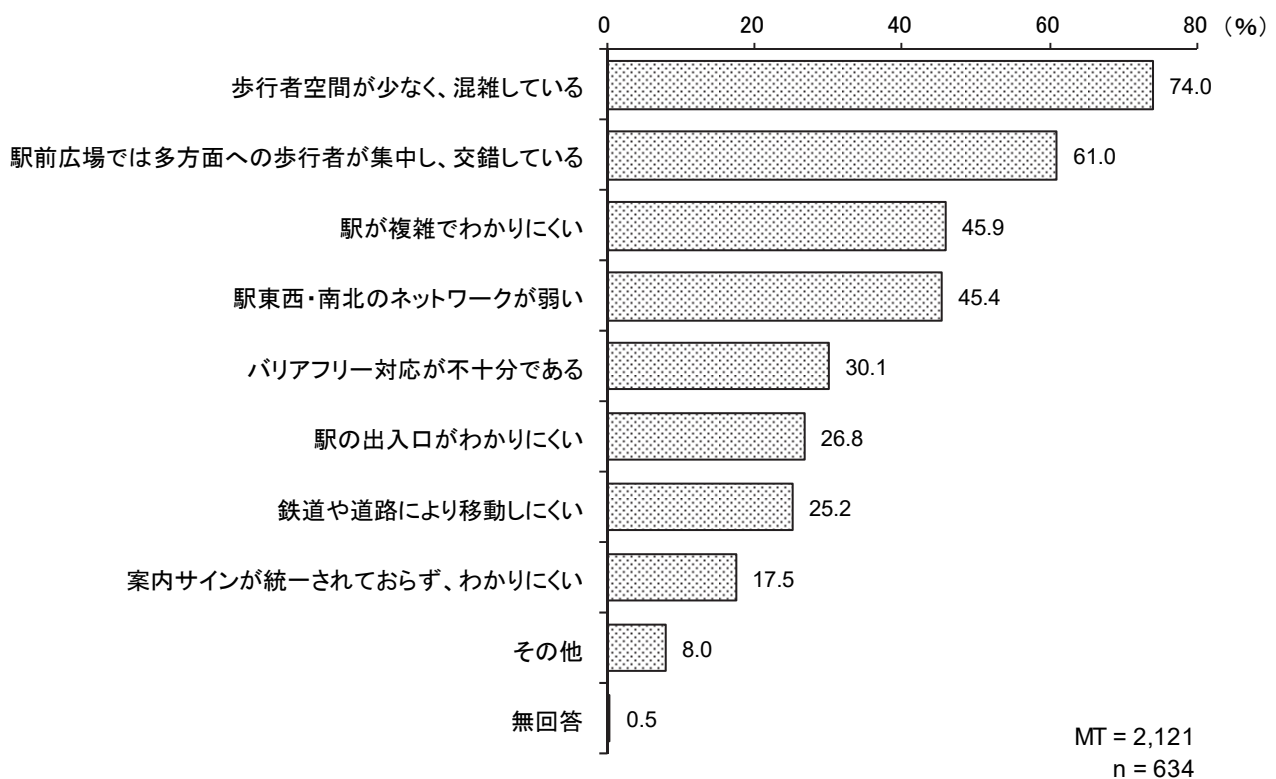
そう思わない理由は何ですか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

(n= 634)

1 歩行者空間が少なく、混雑している	74.0%
2 駅東西・南北のネットワークが弱い	45.4
3 鉄道や道路により移動しにくい	25.2
4 駅前広場では多方面への歩行者が集中し、交錯している	61.0
5 バリアフリー対応が不十分である	30.1
6 案内サインが統一されておらず、わかりにくい	17.5
7 駅が複雑でわかりにくい	45.9
8 駅の出入口がわかりにくい	26.8
9 その他	8.0
無回答	0.5

図3-1-2 新宿駅周辺が歩きにくいと思う理由



新宿駅周辺が歩きにくいと思う理由としては、「歩行者空間が少なく、混雑している」(74.0%)が7割台半ば近くで最も高く、次いで「駅前広場では多方面への歩行者が集中し、交錯している」(61.0%)が6割強、「駅が複雑でわかりにくい」(45.9%)および「駅東西・南北のネットワークが弱い」(45.4%)がともに4割台半ばで続いている。(図3-1-2)

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

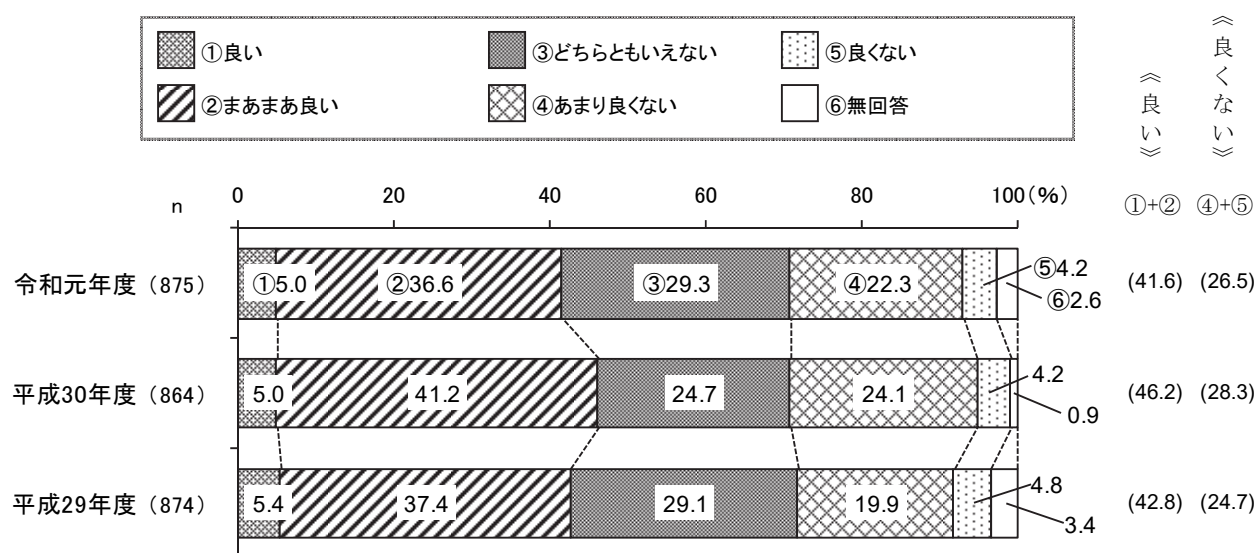
<美しいまちづくり>

（１）新宿区全体の景観に対する区民意識

◎ 《良い》が４割強

問１４ あなたは、新宿区全体のまちなみや景観は良いと思いますか。（○は１つ）		(n=875)
１ 良い		5.0%
２ まあまあ良い		36.6
３ どちらともいえない		29.3
４ あまり良くない		22.3
５ 良くない		4.2
無回答		2.6

図３－２－１ 新宿区全体の景観に対する区民意識
（経年推移）



新宿区全体の景観に対する区民意識について、「良い」（5.0％）と「まあまあ良い」（36.6％）を合わせた《良い》（41.6％）が４割強となっている。一方、「あまり良くない」（22.3％）と「良くない」（4.2％）を合わせた《良くない》（26.5％）は２割台半ばを超えている。

過去３年間の経年推移をみると、《良い》では、平成３０年度（46.2％）から令和元年度（41.6％）にかけて４.６ポイント低くなっている。（図３－２－１）

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
景観に対する 区民意識	まちなみや景観が「良い」、 または「まあまあ良い」と感じる 区民の割合	美しい景観に配慮したまちの実現の 度合いを表すため	42.8%	41.6%	60.0%

＜地域特性をふまえたまちづくり＞

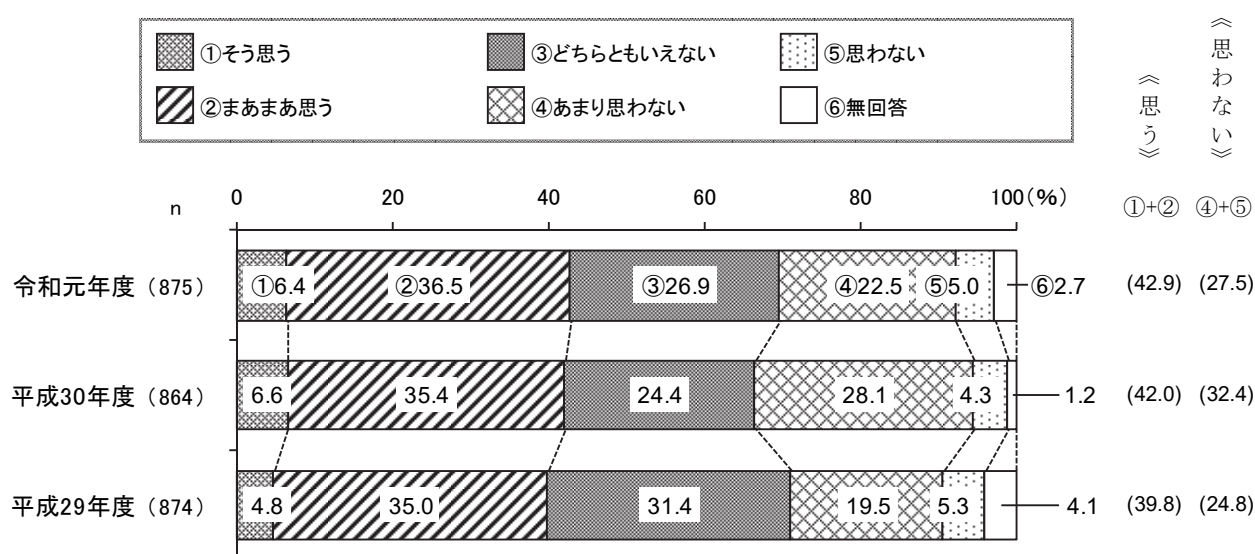
(1) 地域の特性をふまえたまちづくりへの意識

◎《思う》が4割強

問15 あなたは、新宿区では、地域の特性を活かして、住宅地における良好な居住環境の保全や商業地における賑わいの創出などを目指していくまちづくりが行われていると思いますか。(〇は1つ)

	(n=875)
1 そう思う	6.4%
2 まあまあ思う	36.5
3 どちらともいえない	26.9
4 あまり思わない	22.5
5 思わない	5.0
無回答	2.7

図3-3-1 地域の特性をふまえたまちづくりへの意識
(経年推移)



地域の特性をふまえたまちづくりへの意識について、「そう思う」(6.4%)と「まあまあ思う」(36.5%)を合わせた《思う》(42.9%)が4割強、「あまり思わない」(22.5%)と「思わない」(5.0%)を合わせた《思わない》(27.5%)は2割台半ばを超えている。

過去3年間の経年推移をみると、《思う》では、平成29年度(39.8%)から令和元年度(42.9%)にかけて3.1ポイント高くなっている。(図3-3-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
地域特性を踏まえたまちづくりに対する区民意識	地域の土地利用の特性を踏まえたまちづくりが行われていると感じる区民の割合	地域特性を踏まえたまちづくりの実現の度合いを表すため	39.8%	42.9%	60.0%

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

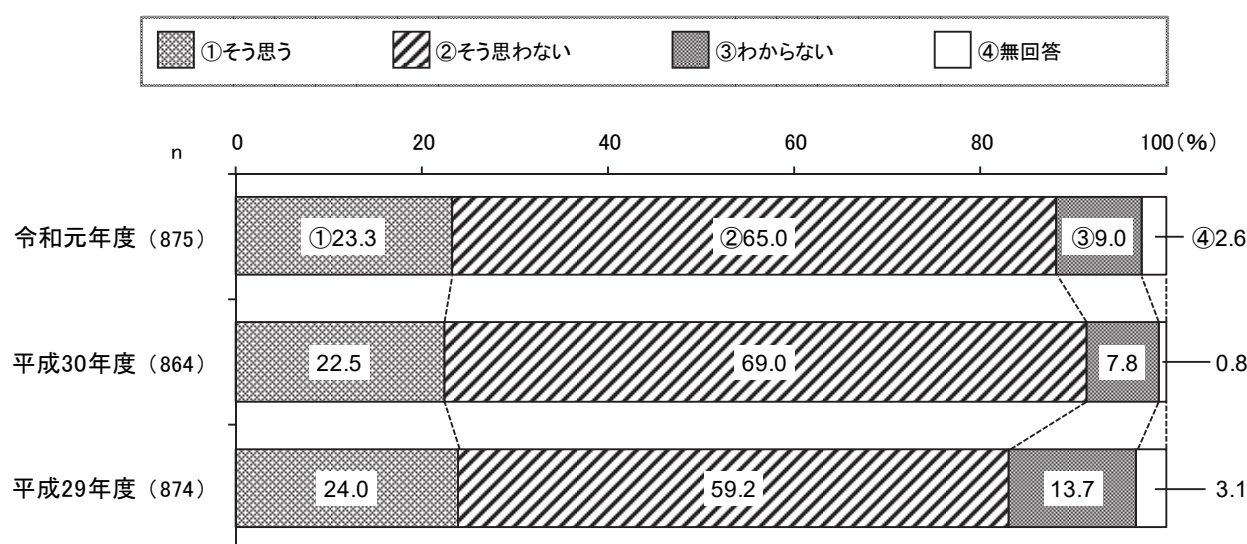
＜安全で快適な道路＞

（１）道路の歩きやすさの満足度

◎「そう思う」が２割台半ば近く

問１６ 新宿区内の道路は、安全で快適な歩きやすい道路だと思いますか。（○は１つ）		(n=875)
１ そう思う		23.3%
２ そう思わない		65.0
３ わからない		9.0
無回答		2.6

図３－４－１ 道路の歩きやすさの満足度
（経年推移）



道路の歩きやすさの満足度について、「そう思う」（23.3％）が２割台半ば近く、「そう思わない」（65.0％）が６割台半ばとなっている。

過去３年間の経年推移をみると、「そう思わない」では、平成２９年度（59.2％）から令和元年度（65.0％）にかけて５.８ポイント高くなっている。（図３－４－１）

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
道路の歩きやすさ 満足度	安全で快適な歩きやすい道路だと 感じる人の割合	放置自転車対策や道路整備の進捗度を 表すため	24.0%	23.3%	増加

(2) 安全で快適な道路だと思わない理由

◎「道路、歩道の幅員が狭い」が7割弱

問16-1 問16で、「2」に○をした方にお伺いします。

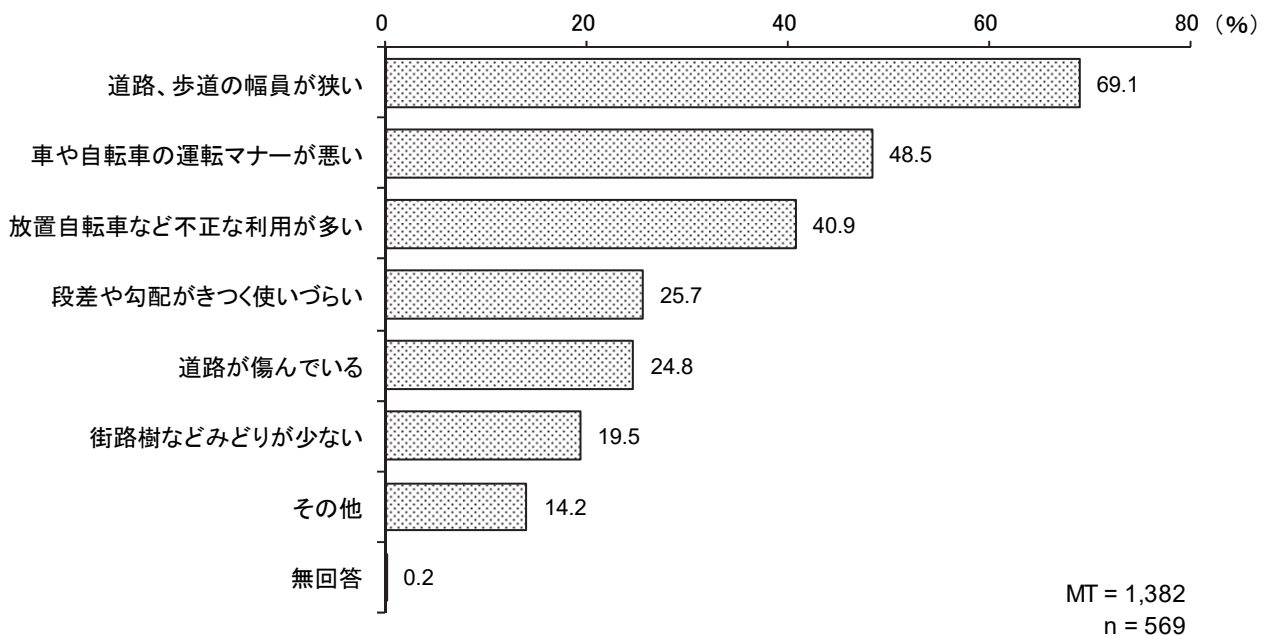
そう思わない理由は何ですか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

(n= 569)

1 道路が傷んでいる	24.8%
2 段差や勾配がきつく使いづらい	25.7
3 道路、歩道の幅員が狭い	69.1
4 街路樹などみどりが少ない	19.5
5 放置自転車など不正な利用が多い	40.9
6 車や自転車の運転マナーが悪い	48.5
7 その他	14.2
無回答	0.2

図3-4-2 安全で快適な道路だと思わない理由



安全で快適な道路だと思わない理由としては、「道路、歩道の幅員が狭い」(69.1%)が7割弱で最も高く、次いで「車や自転車の運転マナーが悪い」(48.5%)が5割近く、「放置自転車など不正な利用が多い」(40.9%)が約4割と続いている。(図3-4-2)

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

<公園整備>

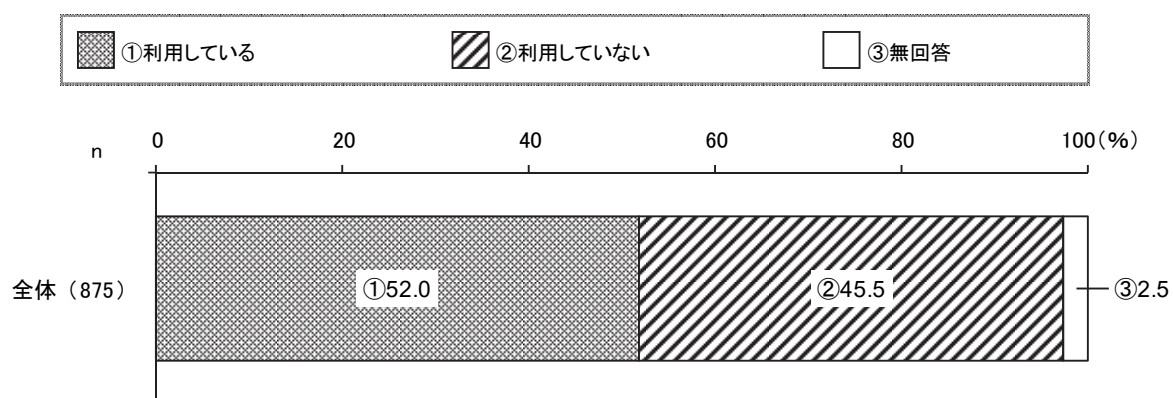
（１）公園の利用状況

◎「利用している」が５割強、「利用していない」が４割台半ば

問１７ あなたは、新宿区内の公園を利用していますか。（○は１つ）

	(n=875)
１ 利用している	52.0%
２ 利用していない	45.5
無回答	2.5

図３－５－１ 公園の利用状況



公園の利用状況について、「利用している」（52.0％）が５割強、「利用していない」（45.5％）が４割台半ばとなっている。（図３－５－１）

(2) 公園の満足度

◎《満足》が約7割

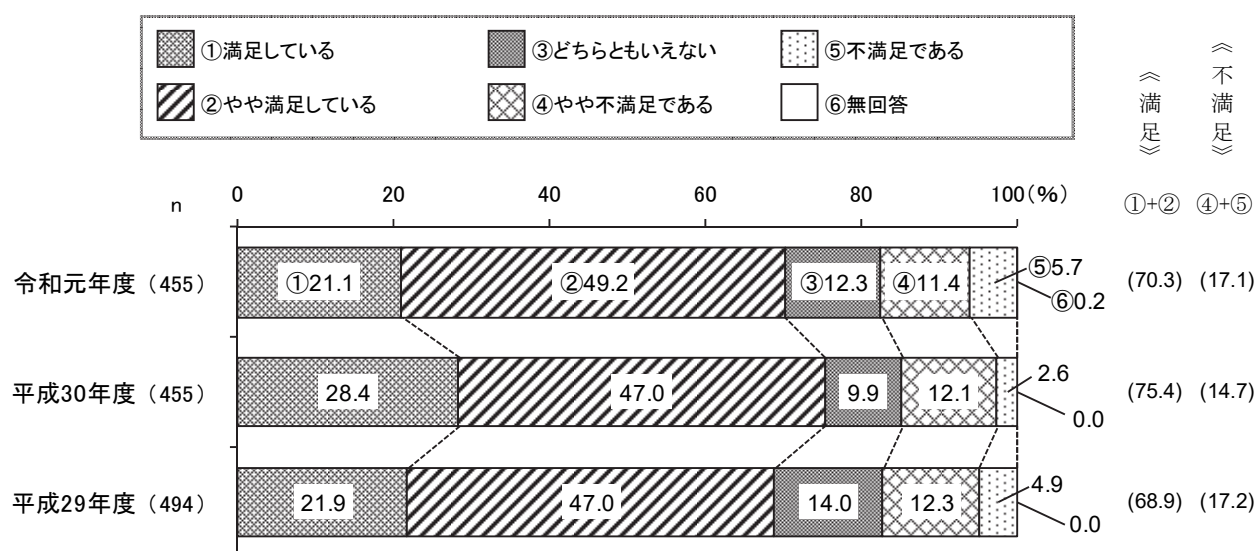
問17-1 問17で、「1」に○をした方にお伺いします。

新宿区内の公園に満足していますか。(○は1つ)

(n=455)

1 満足している	21.1%
2 やや満足している	49.2
3 どちらともいえない	12.3
4 やや不満足である	11.4
5 不満足である	5.7
無回答	0.2

図3-5-2 公園の満足度
(経年推移)



公園の満足度について、「満足している」(21.1%)と「やや満足している」(49.2%)を合わせた《満足》(70.3%)が約7割となっている。一方、「やや不満足である」(11.4%)と「不満足である」(5.7%)を合わせた《不満足》(17.1%)が1割台半ばを超えている。

過去3年間の経年推移をみると、《満足》では、平成29年度(68.9%)から令和元年度(70.3%)にかけて1.4ポイント高くなっている。(図3-5-2)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
公園利用者満足度	公園の利用に関して満足している区民の割合	魅力ある公園の整備・充実に向けた取組の成果を表すため	68.9%	70.3%	75.0%

Ⅱ 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

(3) 公園を利用しない理由

◎「利用する時間がない」が6割強

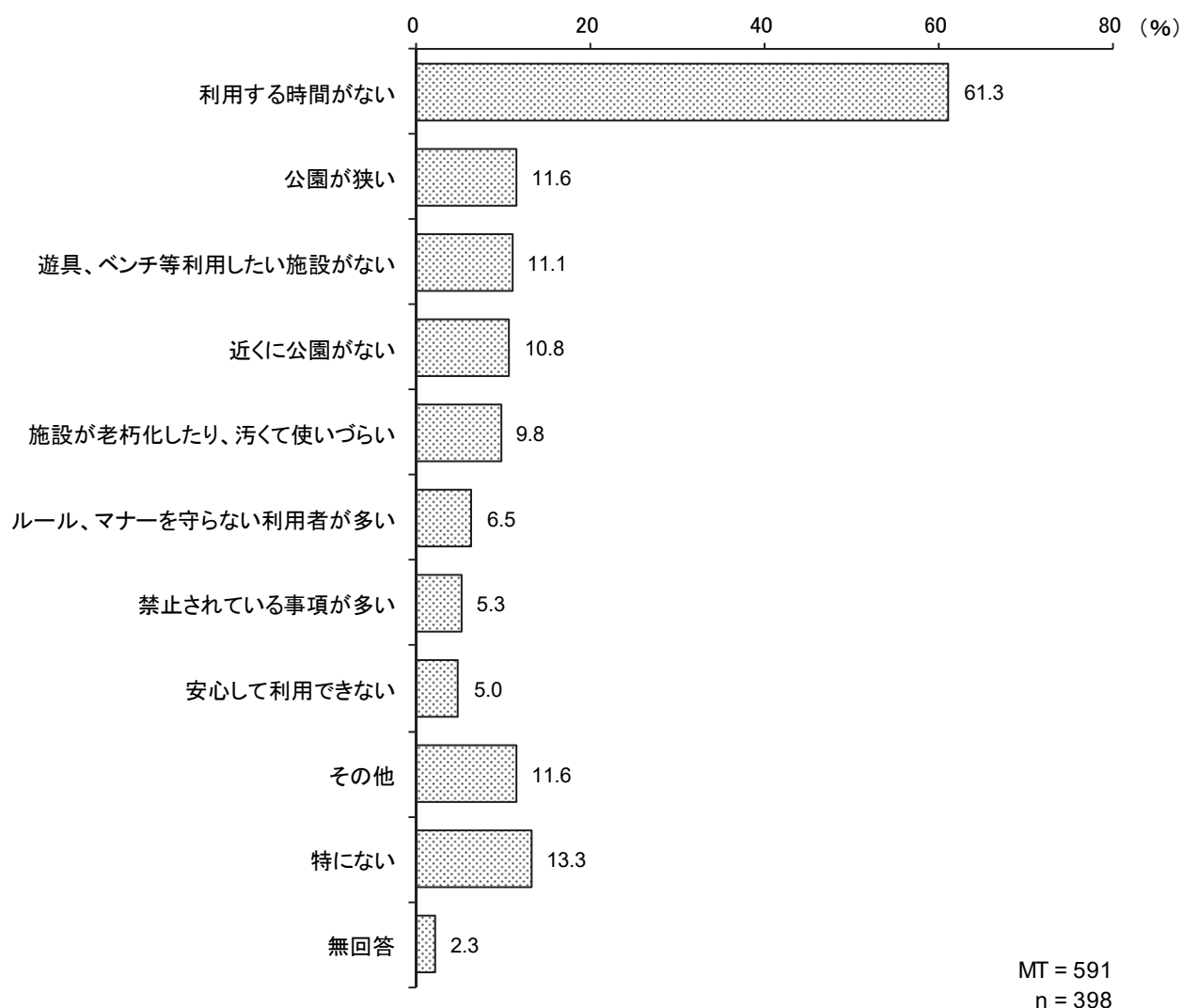
問17-2 問17で、「2」に○をした方にお伺いします。

あなたが公園を利用しない理由は何ですか。

(あてはまるものに3つまで○をつけてください)

	(n= 398)
1 利用する時間がない	61.3%
2 近くに公園がない	10.8
3 公園が狭い	11.6
4 遊具、ベンチ等利用したい施設がない	11.1
5 安心して利用できない	5.0
6 施設が老朽化したり、汚くて使いづらい	9.8
7 禁止されている事項が多い	5.3
8 ルール、マナーを守らない利用者が多い	6.5
9 その他	11.6
10 特にない	13.3
無回答	2.3

図3-5-3 公園を利用しない理由



公園を利用しない理由としては、「利用する時間がない」（61.3%）が6割強で最も高くなっている。（図3-5-3）

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

<環境>

（１）環境配慮のために実施していること

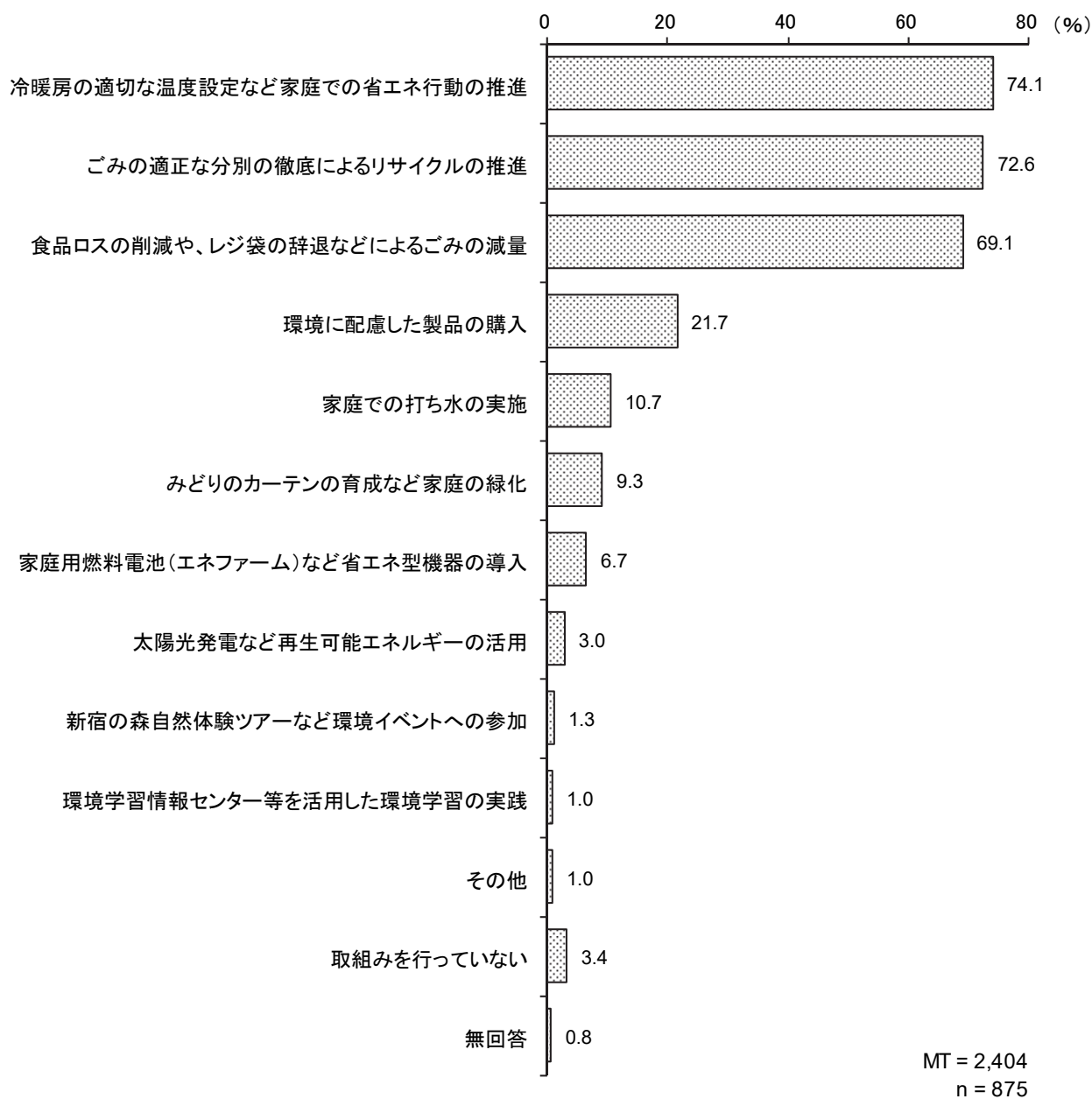
◎「冷暖房の適切な温度設定など家庭での省エネ行動の推進」が７割台半ば近く

問１８ 環境に配慮するために、実施していることはありますか。

（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

	(n=875)
１ 冷暖房の適切な温度設定など家庭での省エネ行動の推進	74.1%
２ 家庭用燃料電池（エネファーム）など省エネ型機器の導入	6.7
３ 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用	3.0
４ みどりのカーテンの育成など家庭の緑化	9.3
５ 家庭での打ち水の実施	10.7
６ 新宿の森自然体験ツアーなど環境イベントへの参加	1.3
７ 環境学習情報センター等を活用した環境学習の実践	1.0
８ 環境に配慮した製品の購入	21.7
９ 食品ロスの削減や、レジ袋の辞退などによるごみの減量	69.1
１０ ごみの適正な分別の徹底によるリサイクルの推進	72.6
１１ その他	1.0
１２ 取組みを行っていない	3.4
無回答	0.8

図3-6-1 環境配慮のために実施していること



環境配慮のために実施していることについて、「冷暖房の適切な温度設定など家庭での省エネ行動の推進」(74.1%)が7割台半ば近くで最も高く、次いで「ごみの適正な分別の徹底によるリサイクルの推進」(72.6%)が7割強、「食品ロスの削減や、レジ袋の辞退などによるごみの減量」(69.1%)が7割弱と続いている。(図3-6-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
環境に配慮した取組を行っている区民の割合	環境に配慮した取組を例示した上で、それらのいずれかを実施している区民の割合	環境学習・環境教育の推進など、区民等に対する周知啓発の取組の成果を表すため	93.9%	95.8%	取組率向上

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

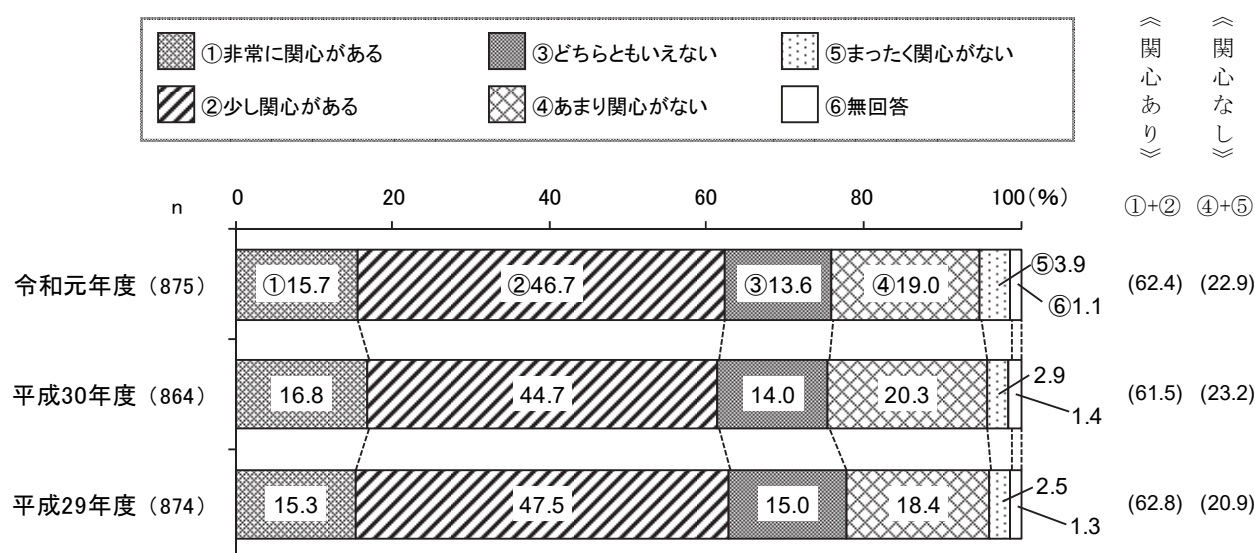
＜文化・芸術＞

（１）新宿区の伝統文化や文化財への関心度

◎《関心あり》が６割強

問１９ あなたは、新宿区の伝統文化や文化財への関心がありますか。（○は１つ）		(n=875)
１ 非常に関心がある	15.7%	
２ 少し関心がある	46.7	
３ どちらともいえない	13.6	
４ あまり関心がない	19.0	
５ まったく関心がない	3.9	
無回答	1.1	

図３－７－１ 新宿区の伝統文化や文化財への関心度
（経年推移）



新宿区の伝統文化や文化財への関心度について、「非常に関心がある」（15.7%）と「少し関心がある」（46.7%）を合わせた《関心あり》（62.4%）が６割強となっている。一方、「あまり関心がない」（19.0%）と「まったく関心がない」（3.9%）を合わせた《関心なし》（22.9%）は２割強となっている。

過去３年間の経年推移をみると、割合に大きな変化はみられない。（図３－７－１）

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
区の伝統文化や文化財への関心度	区の伝統文化や文化財への関心がある区民の割合	区の伝統文化や文化財の認知度、関心度を把握し、区民のまちへの愛着と誇りを醸成することにつなげるため	62.8%	62.4%	70.0%

(2) 関心のある事柄

◎「歴史的な坂や橋」が約6割、「文化歴史施設」が6割弱

問19-1 問19で、「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

あなたが、関心があるのはどのようなものですか。

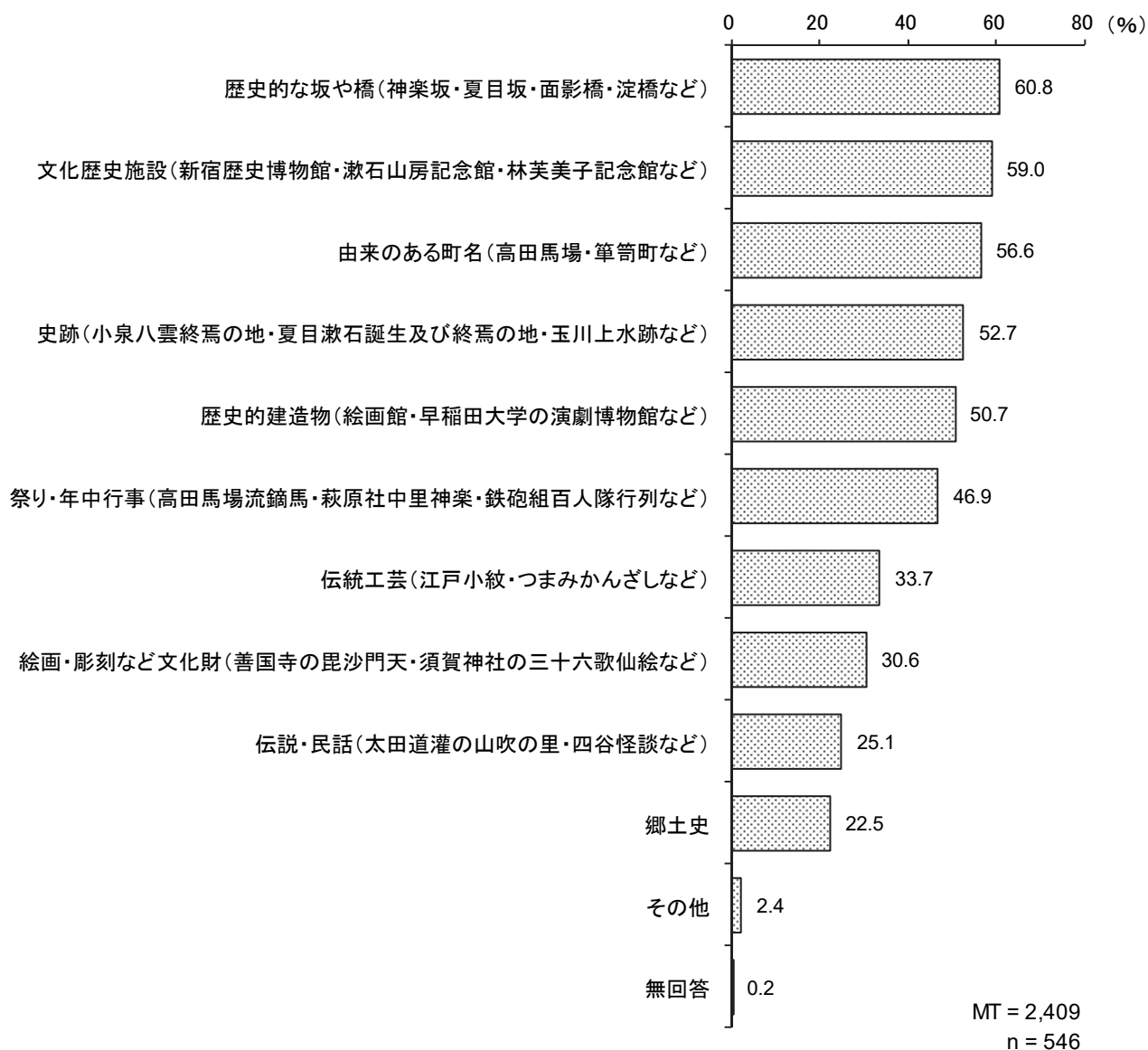
(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

	(n=546)
1 史跡（小泉八雲終焉の地・夏目漱石誕生及び終焉の地・玉川上水跡など）	52.7%
2 文化歴史施設（新宿歴史博物館・漱石山房記念館・林芙美子記念館など）	59.0
3 歴史的建造物（絵画館・早稲田大学の演劇博物館など）	50.7
4 由来のある町名（高田馬場・笹塚町など）	56.6
5 歴史的な坂や橋（神楽坂・夏目坂・面影橋・淀橋など）	60.8
6 絵画・彫刻など文化財（善国寺の毘沙門天・須賀神社の三十六歌仙絵など）	30.6
7 祭り・年中行事（高田馬場流鏑馬・萩原社中里神楽・鉄砲組百人隊行列など）	46.9
8 郷土史	22.5
9 伝説・民話（太田道灌の山吹の里・四谷怪談など）	25.1
10 伝統工芸（江戸小紋・つまみかんざしなど）	33.7
11 その他	2.4
無回答	0.2

Ⅱ 調査の結果

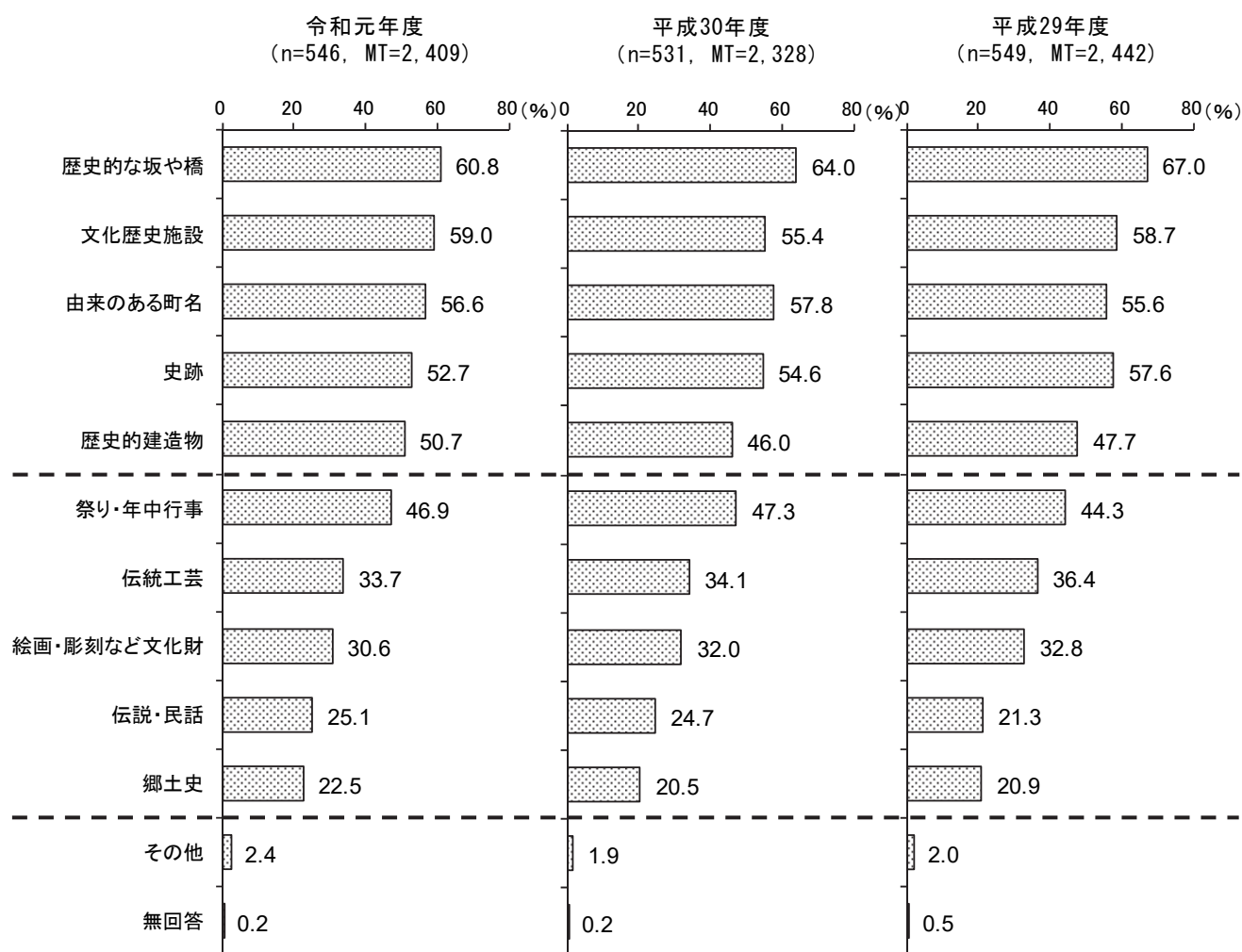
（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

図 3-7-2-1 関心のある事柄



関心のある事柄について、「歴史的な坂や橋（神楽坂・夏目坂・面影橋・淀橋など）」（60.8%）が約6割で最も高く、次いで「文化歴史施設（新宿歴史博物館・漱石山房記念館・林芙美子記念館など）」（59.0%）が6割弱、「由来のある町名（高田馬場・笹塚町など）」（56.6%）が5割台半ばを超え、「史跡（小泉八雲終焉の地・夏目漱石誕生及び終焉の地・玉川上水跡など）」（52.7%）が5割強、「歴史的建造物（絵画館・早稲田大学の演劇博物館など）」（50.7%）が約5割と続いている。（図 3-7-2-1）

図3-7-2-2 関心のある事柄
(経年推移)



過去3年間の経年推移をみると、「歴史的な坂や橋（神楽坂・夏目坂・面影橋・淀橋など）」、「文化歴史施設（新宿歴史博物館・漱石山房記念館・林芙美子記念館など）」、「由来のある町名（高田馬場・笹塚町など）」、「史跡（小泉八雲終焉の地・夏目漱石誕生及び終焉の地・玉川上水跡など）」の4項目は、各年度とも5割を超えて上位となっている。

「歴史的な坂や橋（神楽坂・夏目坂・面影橋・淀橋など）」では、平成29年度（67.0%）から令和元年度（60.8%）にかけて6.2ポイント低くなっている。（図3-7-2-2）

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

（３）文化・芸術に触れる機会の有無

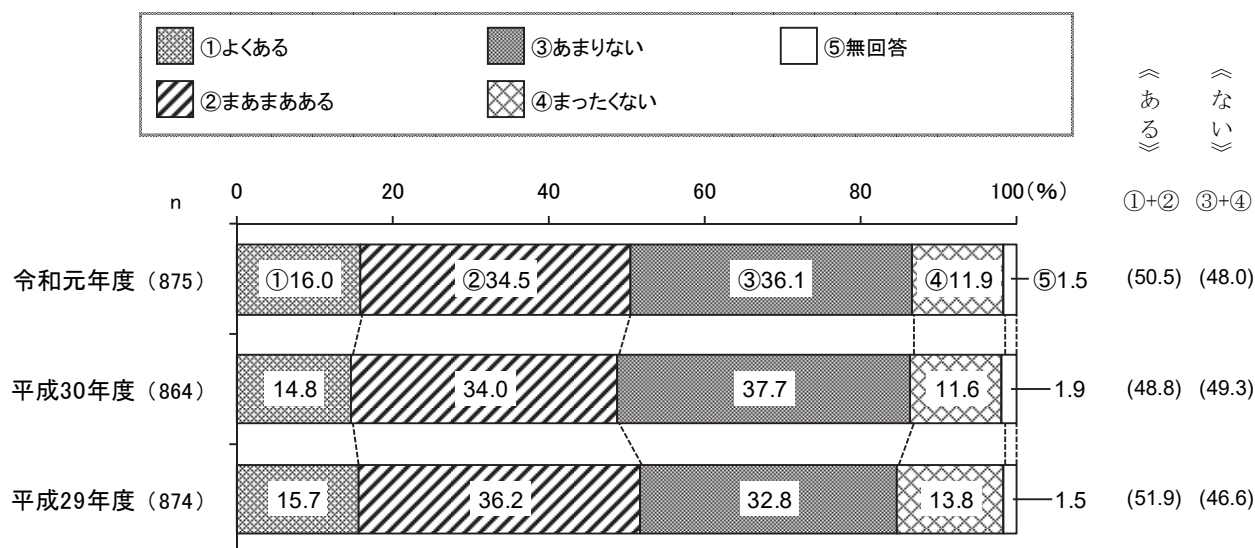
◎《ある》が約５割

問２０ あなたは、日頃、文化芸術の鑑賞や創作、表現活動など、文化・芸術を実際に体験する機会がありますか。（○は１つ）

※「文化・芸術」の範囲については、次の問２０－１の選択肢をご参照の上、回答してください。

	(n=875)
１ よくある	16.0%
２ まあまあある	34.5
３ あまりない	36.1
４ まったくない	11.9
無回答	1.5

図３－７－３－１ 文化・芸術に触れる機会の有無
（経年推移）



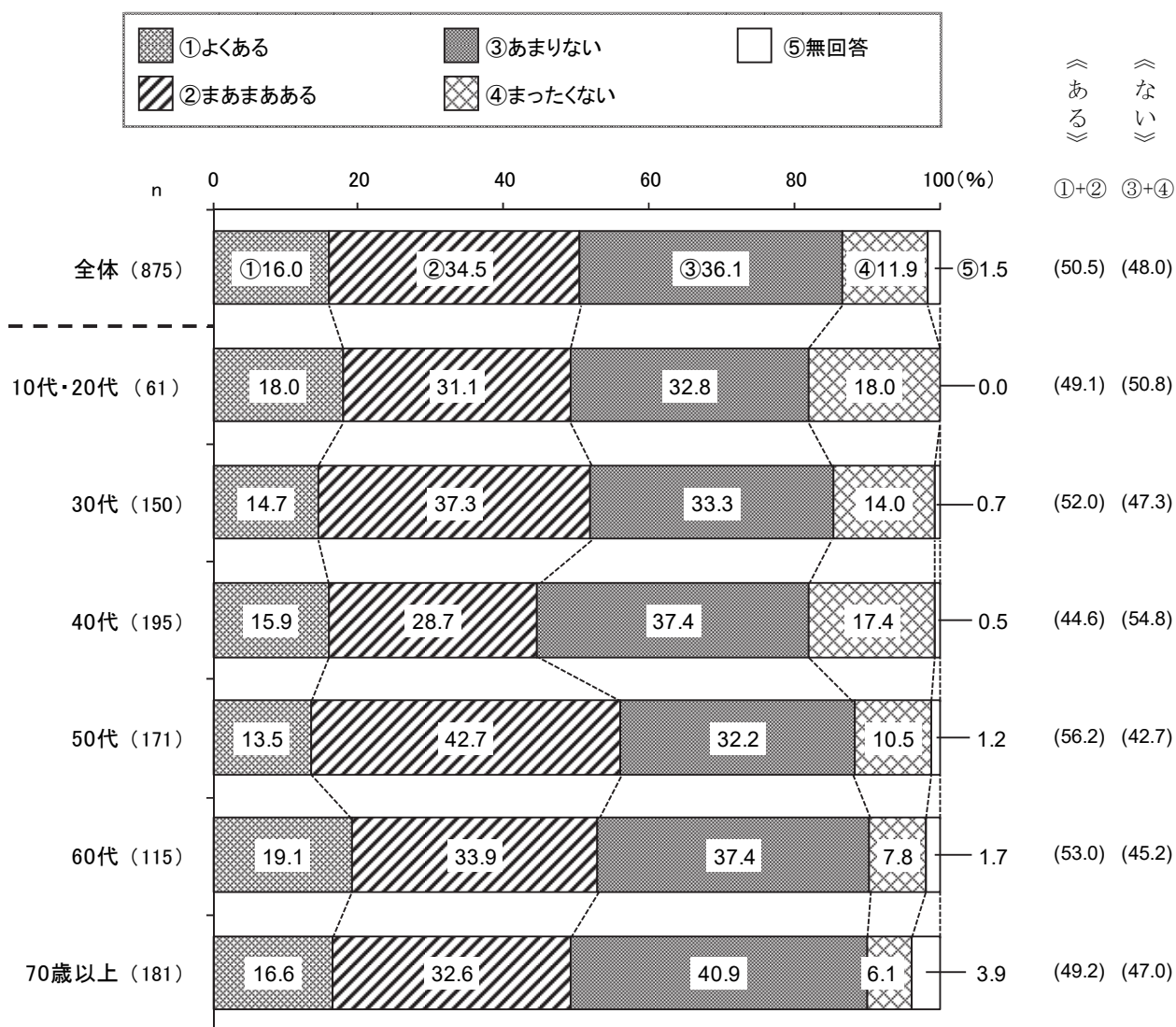
文化・芸術に触れる機会の有無について、「よくある」（16.0％）と「まあまあある」（34.5％）を合わせた《ある》（50.5％）が約５割となっている。一方、「あまりない」（36.1％）と「まったくない」（11.9％）を合わせた《ない》（48.0％）は５割近くとなっている。

過去３年間の経年推移をみると、割合に大きな変化はみられない。（図３－７－３－１）

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
文化芸術活動の状況	文化芸術の鑑賞や創作、表現活動など、文化芸術に触れる機会がある区民の割合	区民が文化芸術に接する機会があると感じているかを把握し、区民のまちへの愛着と誇りを醸成することにつなげるため	51.9%	50.5%	60.0%

図3-7-3-2 文化・芸術に触れる機会の有無
(年代別)



年代別にみると、《ある》では、50代（56.2%）が5割台半ばを超えて高くなっている。
(図3-7-3-2)

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

（４）関心のある内容

◎「映画・ビデオ」が６割台半ば近く、「美術」が約６割

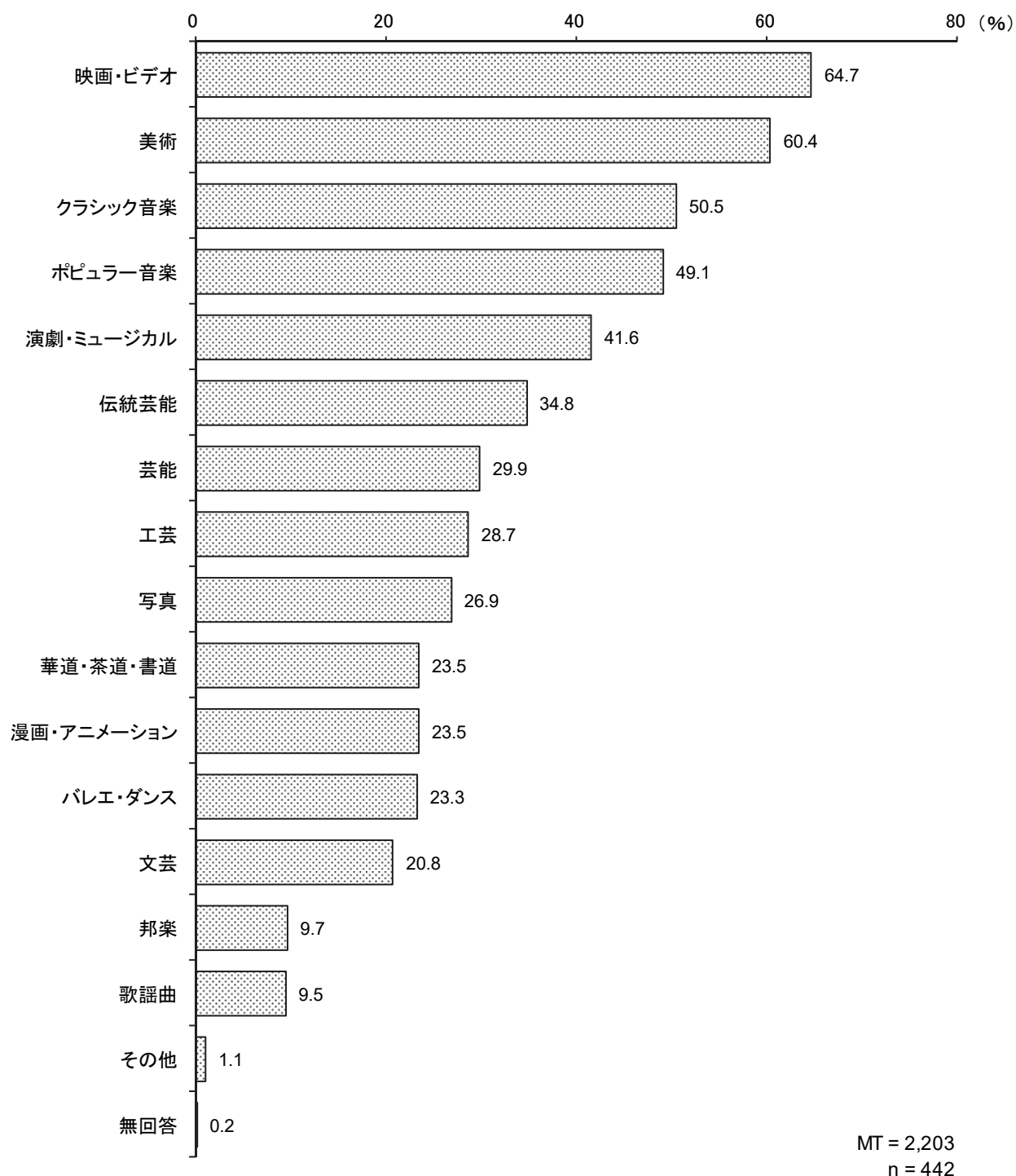
問２０－１ 問２０で、「１」または「２」に○をした方にお伺いします。

あなたが、関心があるのはどのようなものですか。

（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

	(n=442)
１ クラシック音楽（オーケストラ・オペラ・合唱など）	50.5%
２ ポピュラー音楽（ロック・ポップス・ジャズなど）	49.1
３ 邦楽（長唄・義太夫など）	9.7
４ 歌謡曲（演歌・民謡など）	9.5
５ 美術（絵画・彫刻など）	60.4
６ 工芸（陶芸・染色など）	28.7
７ 映画・ビデオ	64.7
８ 写真	26.9
９ 演劇・ミュージカル	41.6
10 バレエ・ダンス	23.3
11 伝統芸能（歌舞伎・能・狂言・文楽・日本舞踊など）	34.8
12 芸能（落語・漫才・講談など）	29.9
13 華道・茶道・書道	23.5
14 文芸（文学・俳句・短歌など）	20.8
15 漫画・アニメーション	23.5
16 その他	1.1
無回答	0.2

図 3-7-4 関心のある内容



関心のある内容について、「映画・ビデオ」(64.7%)が6割台半ば近くで最も高く、次いで「美術(絵画・彫刻など)」(60.4%)が約6割、「クラシック音楽(オーケストラ・オペラ・合唱など)」(50.5%)が約5割、「ポピュラー音楽(ロック・ポップス・ジャズなど)」(49.1%)が5割弱、「演劇・ミュージカル」(41.6%)が4割強と続いている。(図3-7-4)

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

（５）「新宿フィールドミュージアム」の認知度

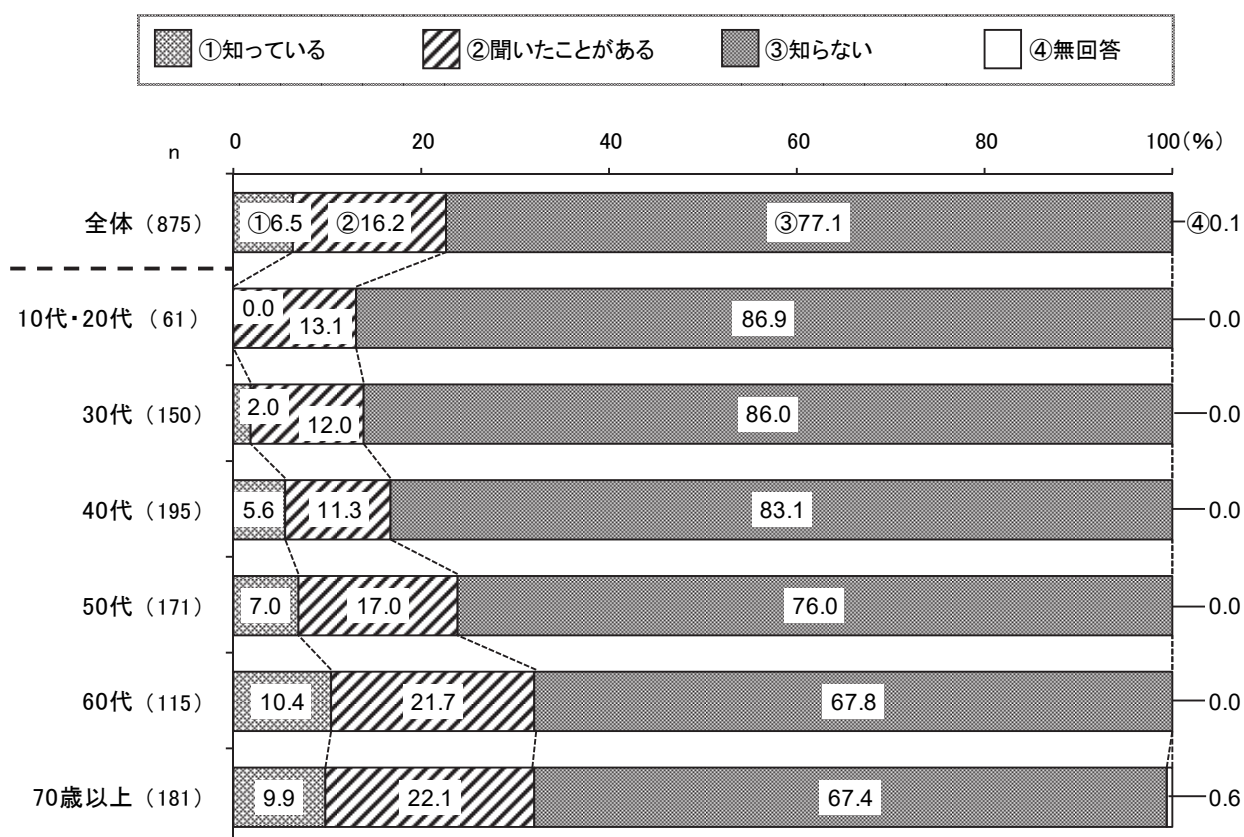
◎「知らない」が７割台半ばを超え

問２１ 新宿区では、特に７月～１１月を文化月間として設定し、「来て・見て・楽しい 新宿フィールドミュージアム」として区内の多彩な文化芸術イベントをガイドブックやインターネットなどで紹介しています。あなたは、「新宿フィールドミュージアム」を知っていますか。（○は１つ）

(n=875)

１ 知っている	6.5%
２ 聞いたことがある	16.2
３ 知らない	77.1
無回答	0.1

図３－７－５ 「新宿フィールドミュージアム」の認知度
（年代別）



「新宿フィールドミュージアム」の認知度について、「知らない」（77.1%）が7割台半ばを超えている。

年代別でみると、「知っている」では、60代（10.4%）が約1割と、全体（6.5%）を3.9ポイント上回っている。（図３－７－５）

（６）文化月間中の文化芸術イベントへの参加状況

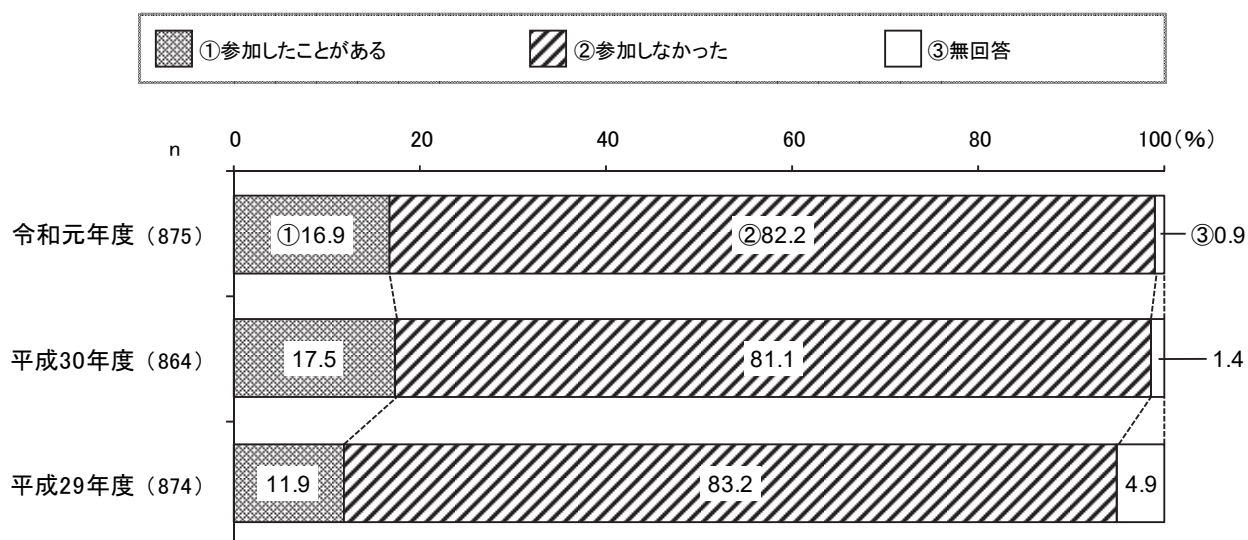
◎「参加しなかった」が8割強

問２２ あなたは、７月～１１月の文化月間中に、なんらかの文化芸術イベントに参加しましたか。（○は１つ）

(n=875)

１ 参加したことがある	16.9%
２ 参加しなかった	82.2
無回答	0.9

図３－７－６ 文化月間中の文化芸術イベントへの参加状況
(経年推移)



文化月間中の文化芸術イベントへの参加状況について、「参加しなかった」(82.2%)が8割強、「参加したことがある」(16.9%)が1割台半ばを超えている。

過去3年間の経年推移をみると、「参加したことがある」は、平成29年度(11.9%)から令和元年度(16.9%)にかけて5.0ポイント高くなっている。(図３－７－６)

※平成30年度の文化月間は9月～11月、平成29年度の文化月間は10月～11月

Ⅱ 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

(7) どのようなジャンルのイベントに参加したか

◎「フェスティバル（おまつり）」が5割近く

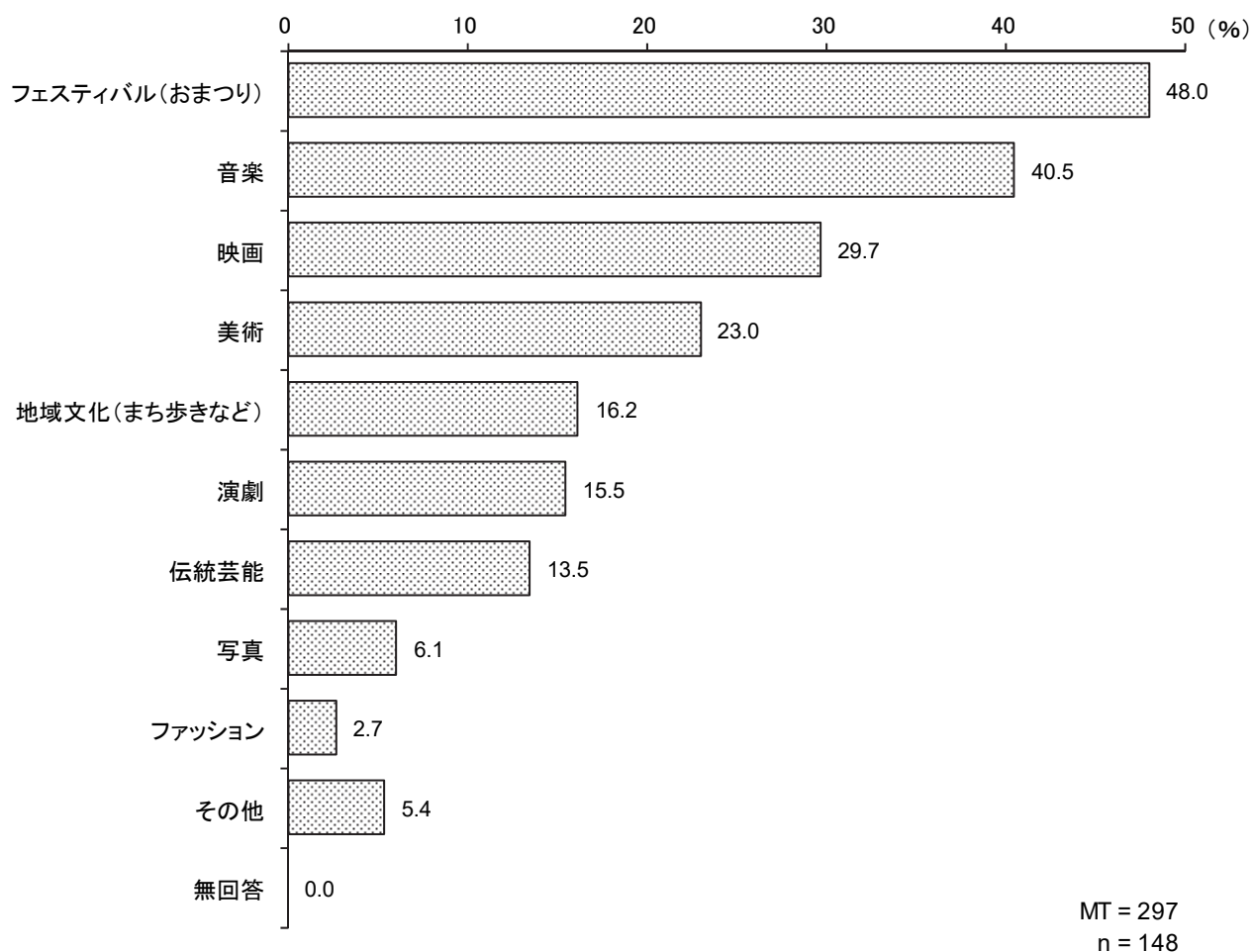
問22-1 問22で、「1」に○をした方にお伺いします。

どのようなジャンルの文化芸術イベントに参加しましたか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

	(n=148)
1 フェスティバル（おまつり）	48.0%
2 音楽	40.5
3 映画	29.7
4 演劇	15.5
5 美術	23.0
6 写真	6.1
7 ファッション	2.7
8 地域文化（まち歩きなど）	16.2
9 伝統芸能	13.5
10 その他	5.4
無回答	0.0

図3-7-7 どのようなジャンルのイベントに参加したか



どのようなジャンルのイベントに参加したかについて、「フェスティバル(おまつり)」(48.0%)が5割近くで最も高く、次いで「音楽」(40.5%)が約4割、「映画」(29.7%)が3割弱、「美術」(23.0%)が2割台半ば近くとなっている。(図3-7-7)

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

<生涯学習>

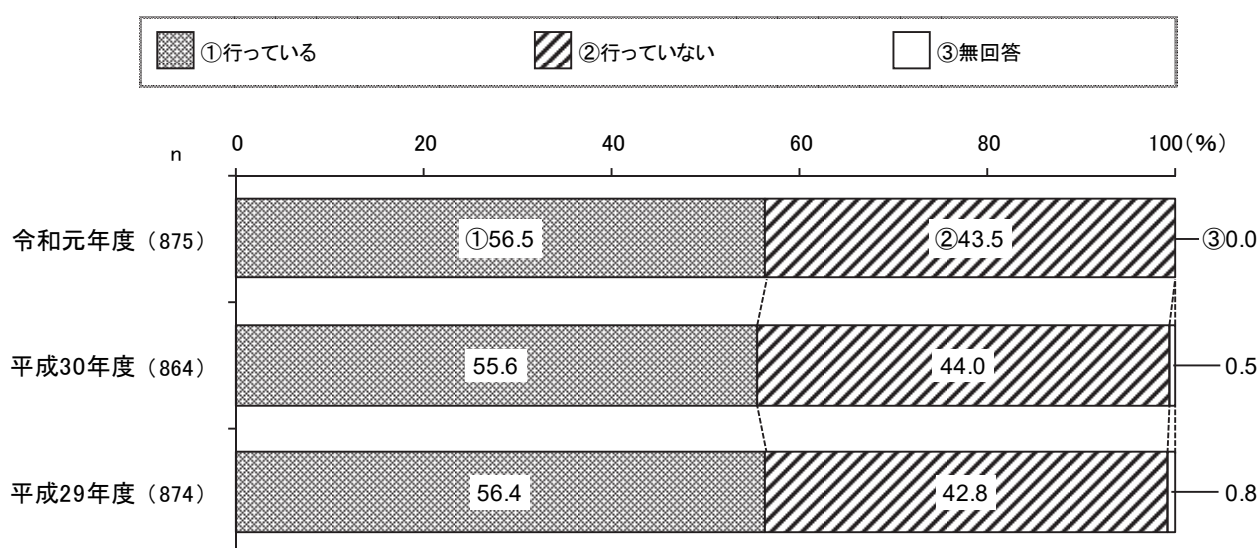
（１）スポーツ・生涯学習等の実施状況

◎「行っている」が5割台半ばを超え、「行っていない」が4割台半ば近く

問 2 3 あなたは現在、スポーツ・軽度な身体活動（ハイキング・ウォーキング、体操等を含む）、文化・学習活動等を行っていますか。（○は1つ）

	(n=875)
1 行っている	56.5%
2 行っていない	43.5
無回答	0.0

図 3-8-1-1 スポーツ・生涯学習等の実施状況
（経年推移）



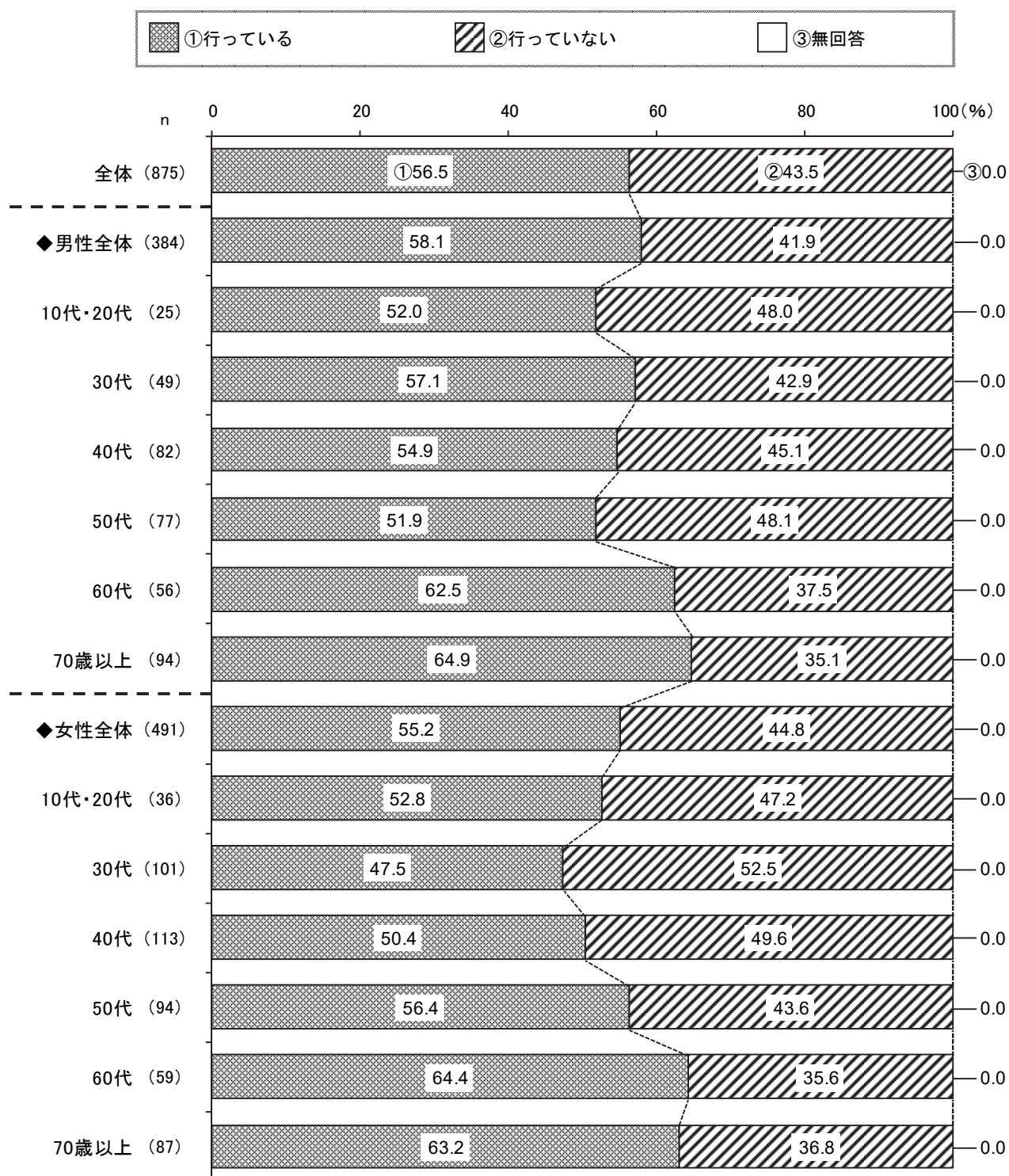
スポーツ・生涯学習等の実施状況について、「行っている」（56.5%）が5割台半ばを超え、「行っていない」（43.5%）が4割台半ば近くとなっている。

過去3年間の経年推移をみると、割合に大きな変化はみられない。（図 3-8-1-1）

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
学習・スポーツ活動の実施状況	学習・スポーツ活動を行っている区民の割合	生涯を通じて学習やスポーツ活動に取り組めるまちの実現に向けたため	56.4%	56.5%	65.0%

図3-8-1-2 スポーツ・生涯学習等の実施状況
(性別・性／年代別)



性別でみると、「行っている」では、男性（58.1%）が6割近くと、女性（55.2%）を2.9ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「行っていない」では、女性の30代（52.5%）が5割強と、全体（43.5%）を9.0ポイント上回っている。（図3-8-1-2）

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

（２）スポーツ・生涯学習等の頻度

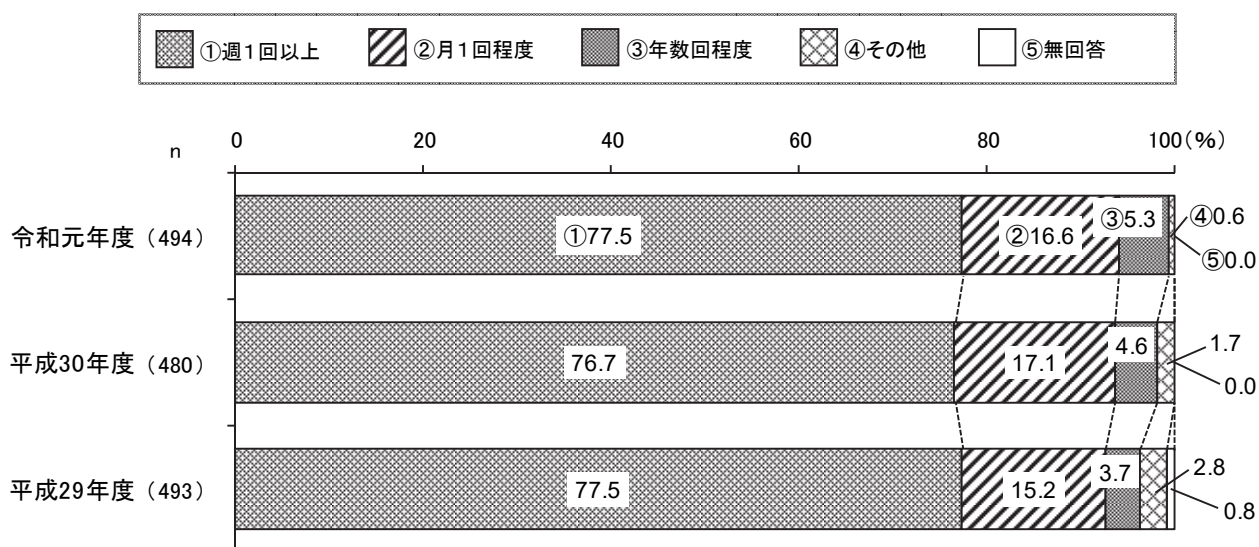
◎「週１回以上」が７割台半ばを超え

問２３－１ 問２３で、「１」に○をした方にお伺いします。

平均して、どのくらいの頻度で行っていますか。（○は１つ）

	(n=494)
１ 週１回以上	77.5%
２ 月１回程度	16.6
３ 年数回程度	5.3
４ その他	0.6
無回答	0.0

図３－８－２ スポーツ・生涯学習等の頻度
（経年推移）



スポーツ・生涯学習等の頻度について、「週１回以上」（77.5%）が７割台半ばを超え、「月１回程度」（16.6%）が１割台半ばを超えている。

過去３年間の経年推移をみると、割合に大きな変化はみられない。（図３－８－２）

＜多文化共生＞

(1) 多文化共生の進捗度

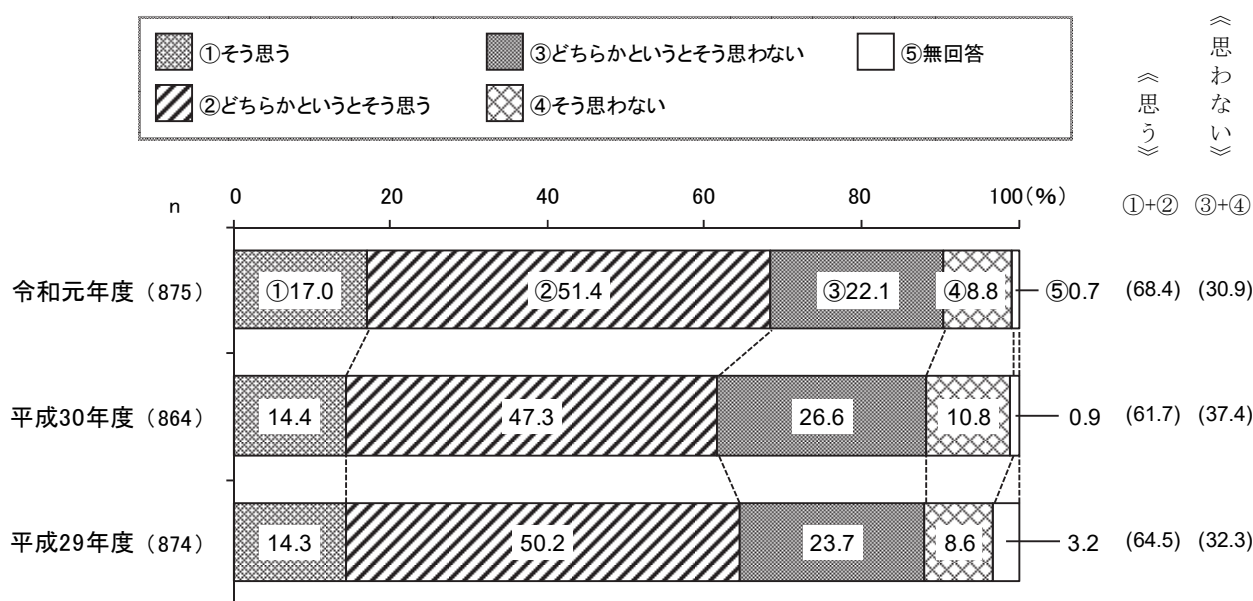
◎《思う》が7割近く

問24 区では、様々な国籍・民族の人々が、互いに文化の違いを認め、理解し、地域で共に生きていく「多文化共生のまちづくり」を推進しています。あなたは、地域における多文化共生が進んでいると思いますか。(〇は1つ)

(n=875)

1 そう思う	17.0%
2 どちらかというと思う	51.4
3 どちらかというと思わない	22.1
4 そう思わない	8.8
無回答	0.7

図3-9-1 多文化共生の進捗度
(経年推移)



多文化共生の進捗度について、「そう思う」(17.0%)と「どちらかというと思う」(51.4%)を合わせた《思う》(68.4%)が7割近くとなっている。一方、「どちらかというと思わない」(22.1%)と「そう思わない」(8.8%)を合わせた《思わない》(30.9%)は約3割となっている。

過去3年間の経年推移をみると、《思う》は、平成30年度(61.7%)から令和元年度(68.4%)にかけて6.7ポイント高くなっている。(図3-9-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
地域における多文化共生の定着度	「地域における多文化共生が進んでいる」と回答する区民の割合	「多文化共生のまち」の実現の度合いを表すため	64.5%	68.4%	増加

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

基本政策Ⅴ 好感度1番の区役所

＜行政サービス＞

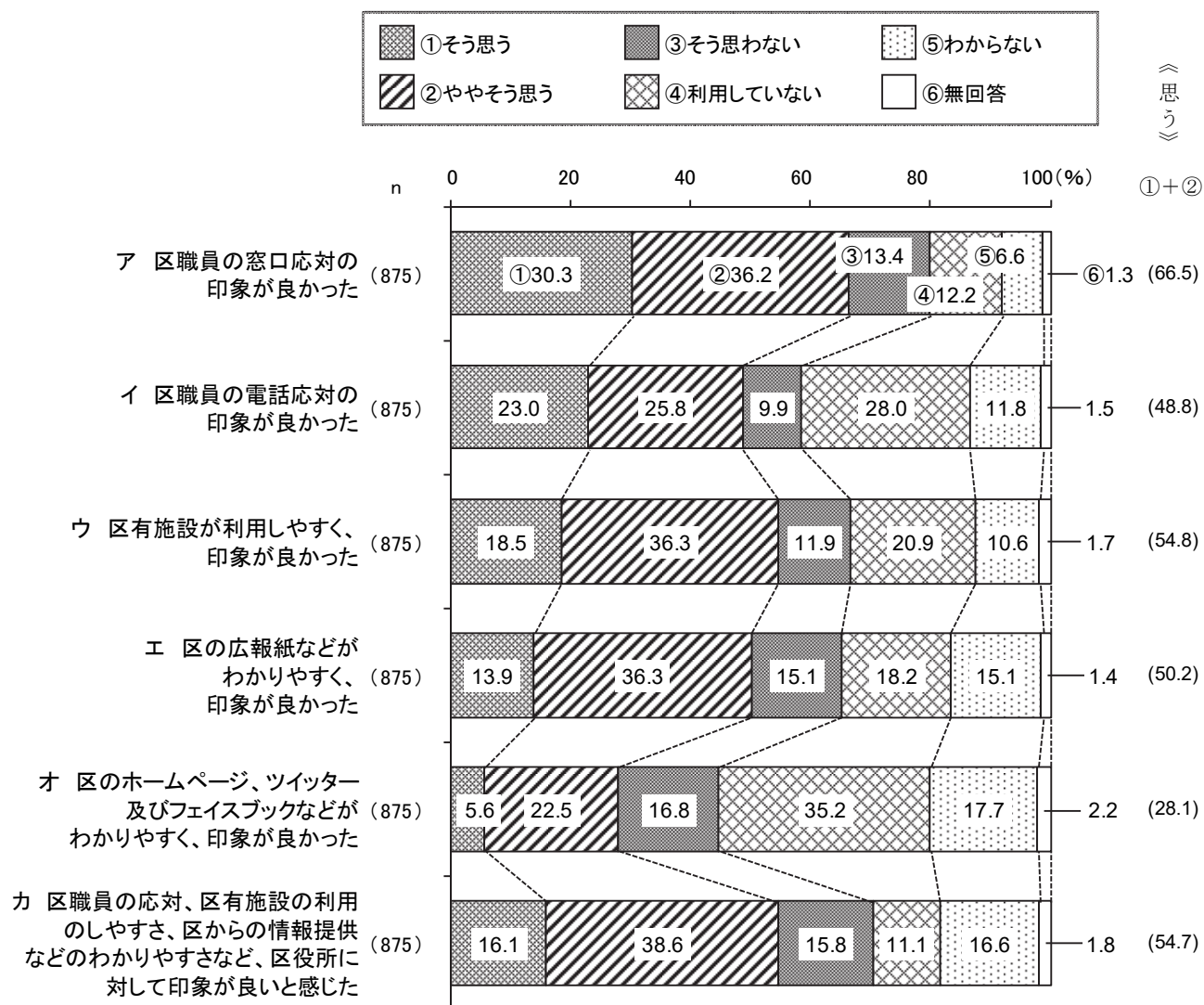
（１）行政サービスの印象

◎《思う》は『区職員の窓口対応の印象が良かった』が6割台半ばを超え

問25 あなたが区役所とのかかわりの中で感じている区職員の対応や区の発行物の わかりやすさなどの印象をお答えください。 (ア～カそれぞれで、あてはまるものに1つ○をつけてください)						
	そう 思う	やや そう 思う	そう 思わ ない	利 用 し て い ない	わ か ら ない	無 回 答
ア 区職員の窓口対応の 印象が良かった	30.3%	36.2%	13.4%	12.2%	6.6%	1.3%
イ 区職員の電話対応の 印象が良かった	23.0	25.8	9.9	28.0	11.8	1.5
ウ 区有施設が利用しやすく、 印象が良かった	18.5	36.3	11.9	20.9	10.6	1.7
エ 区の広報紙などがわかりやすく、 印象が良かった	13.9	36.3	15.1	18.2	15.1	1.4
オ 区のホームページ、ツイッター 及びフェイスブックなどが わかりやすく、印象が良かった	5.6	22.5	16.8	35.2	17.7	2.2
カ 区職員の対応、区有施設の利用の しやすさ、区からの情報提供などの わかりやすさなど、区役所に対して 印象が良いと感じた	16.1	38.6	15.8	11.1	16.6	1.8

(n=875)

図4-1-1 行政サービスの印象



行政サービスの印象について、「そう思う」は『区職員の窓口対応の印象が良かった』(30.3%)が約3割で最も高く、次いで『区職員の電話対応の印象が良かった』(23.0%)が2割台半ば近くとなっている。

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた《思う》は、『区職員の窓口対応の印象が良かった』(66.5%)が6割台半ばを超えて最も高く、次いで『区有施設が利用しやすく、印象が良かった』(54.8%)および『区職員の対応、区有施設の利用のしやすさ、区からの情報提供などのわかりやすさなど、区役所に対して印象が良いと感じた』(54.7%)がともに5割台半ば近くとなっている。(図4-1-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)
区役所への好感度	様々な区役所とのかかわりの中で、職員の対応や区の発行物のわかりやすさなど印象が「良い」と感じる人の割合	職員の接遇応対力や分かりやすい情報提供は、区民との信頼関係を築く上で不可欠であるため	49.0%	54.7%	55.0%

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

その他

<しんじゅくコール（新宿区コールセンター）>

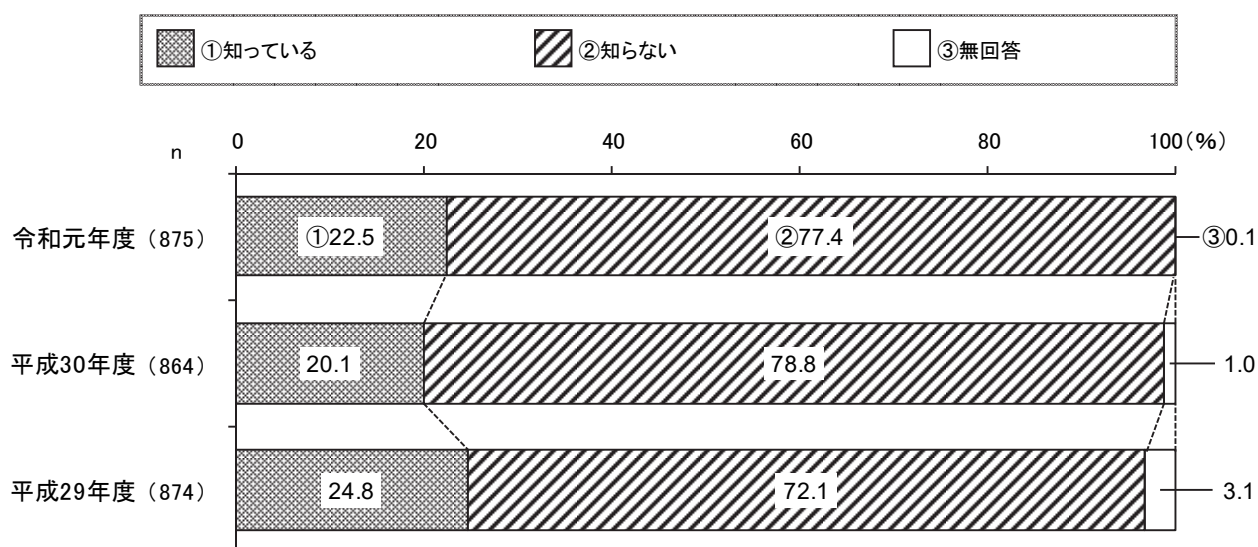
（１）「しんじゅくコール」の認知度

◎「知っている」が２割強

問 2 6 あなたは、「しんじゅくコール」（新宿区コールセンター ☎ 3 2 0 9 - 9 9 9 9）を知っていますか。（○は１つ）

	(n=875)
1 知っている	22.5%
2 知らない	77.4
無回答	0.1

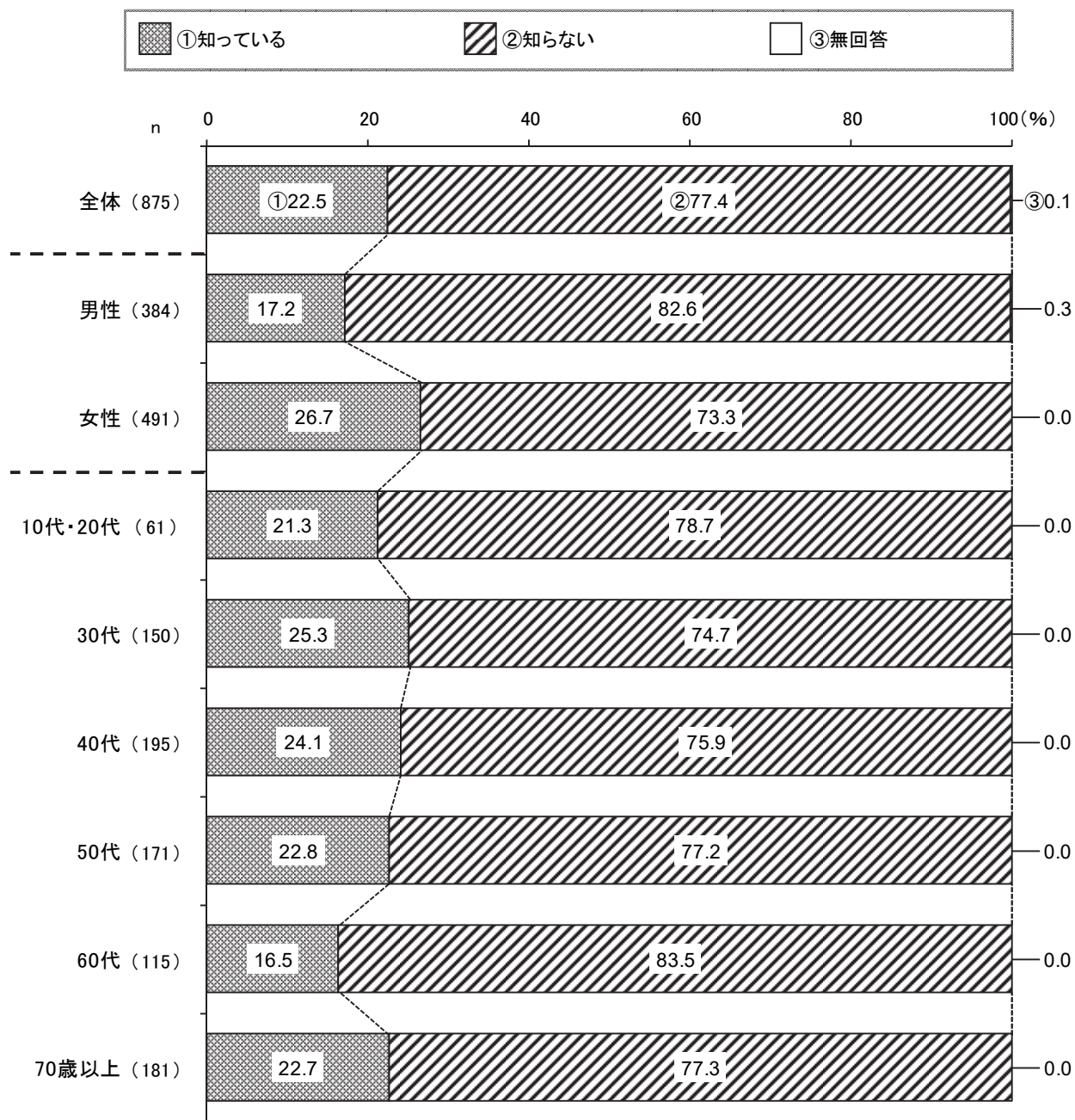
図 5-1-1-1 「しんじゅくコール」の認知度
（経年推移）



「しんじゅくコール」の認知度について、「知っている」(22.5%) が 2 割強、「知らない」(77.4%) が 7 割台半ばを超えている。

過去 3 年間の経年推移をみると、割合に大きな変化はみられない。(図 5-1-1-1)

図5-1-1-2 「しんじゅくコール」の認知度
(性別・年代別)



性別でみると、「知っている」は女性（26.7%）が2割台半ばを超え、男性（17.2%）を9.5ポイント上回っている。

年代別でみると、「知らない」では60代（83.5%）が8割台半ば近くで、全体（77.4%）を6.1ポイント上回っている。（図5-1-1-2）

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

（２）「しんじゅくコール」利用の有無

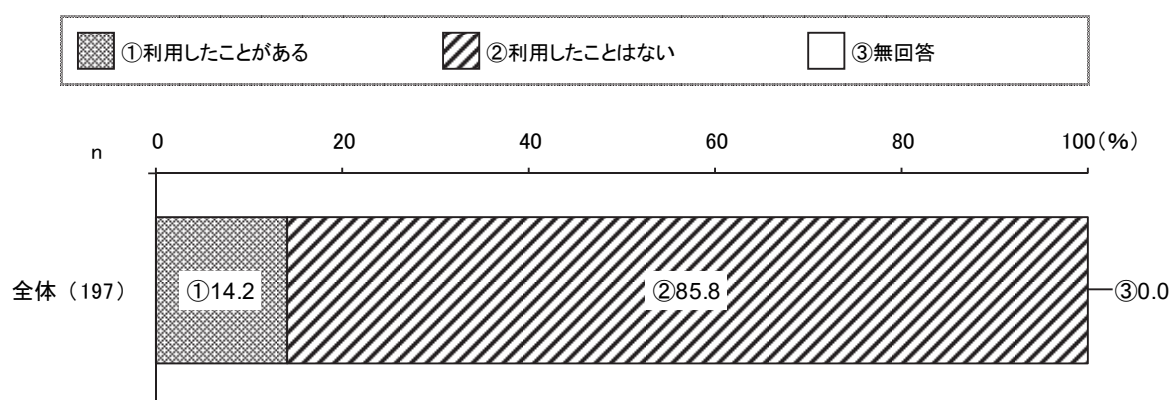
◎「利用したことはない」が８割台半ば

問２６－１ 問２６で、「１」に○をした方にお伺いします。

「しんじゅくコール」を利用したことはありますか。（○は１つ）

	(n=197)
１ 利用したことがある	14.2%
２ 利用したことはない	85.8
無回答	0.0

図５－１－２ 「しんじゅくコール」利用の有無

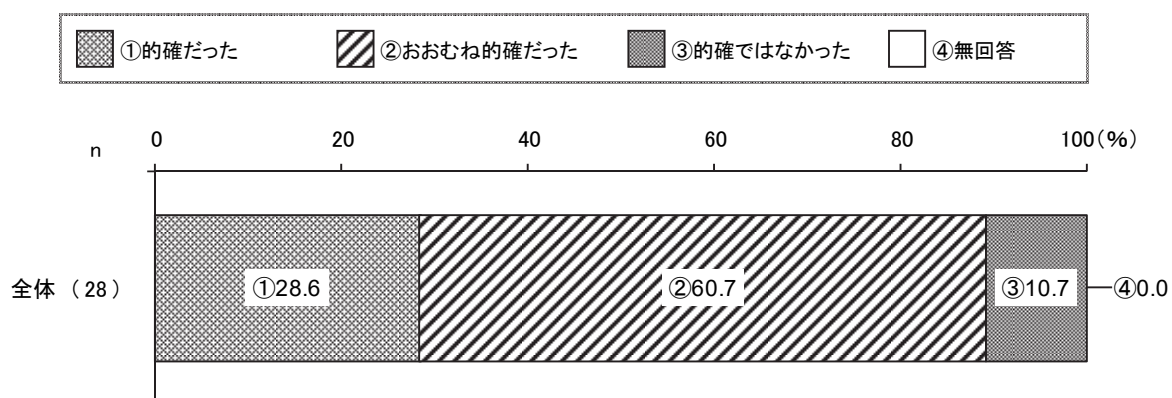


「しんじゅくコール」利用の有無について、「利用したことはない」（85.8％）が８割台半ばとなっている。（図５－１－２）

(3) オペレーターの案内について

問26-2 問26-1で、「1」に○をした方にお伺いします。 オペレーターの案内は的確でしたか。(○は1つ)		(n=28)
1 的確だった		28.6%
2 おおむね的確だった		60.7
3 的確ではなかった		10.7
無回答		0.0

図5-1-3 オペレーターの案内について



※この設問の回答者は無回答を含め28人と少なく、極端な結果になりやすいため参考値とする。

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

<区政モニターアンケートで調査する「新宿区総合計画」の指標値>

基本政策Ⅰ 暮らしやすさ1番の新宿

指標名	指標の定義	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)	参照 区政モニター アンケート 報告書(頁)
主観的健康感	現在の健康状態を良いと感じている人の割合(65歳未満)	78.7%	63.9%	80.0%	第3回(28)
区民の地域福祉活動への協働意識	「高齢者の見守りを住民同士で行う」と考える区民の割合	8.5%	5.8%	20.0%	第4回(5)
障害者の社会参加のしやすさ	障害があっても積極的に社会参加しやすいまちだと思う割合	14.8%	18.4%	増加	第4回(6)
障害者差別解消法認知度	障害者差別解消法の施行を知っている人の割合	44.7%	54.4%	増加	第4回(8)
性別役割分担意識に反対する人の割合	固定的な性別役割分担意識に反対する人の割合	53.4%	62.5%	増加	第1回(48)
地域コミュニティ活動への参加率	地域の中でコミュニティ活動を行っている人の割合	50.0%	50.0%	60.0%	第4回(9)

基本政策Ⅱ 新宿の高度防災都市化と安全安心の強化

指標名	指標の定義	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)	参照 区政モニター アンケート 報告書(頁)
家庭内の防災対策の普及	家庭内の防災対策実施率	65.2%	73.7%	90.0%	第4回(15)
避難場所・避難所の理解度	一時集合場所、一次避難所、避難場所を理解している区民の割合	49.1%	37.4%	80.0%	第4回(13)
区民の日常生活における安心度	居住地域で犯罪への不安を感じない区民の割合	40.6%	43.7%	増加	第4回(18)
消費者問題に対する関心度	悪質商法や消費者問題に対して関心がある区民の割合	78.3%	82.8%	85.0%	第4回(20)
消費生活センターの認知度	契約のトラブルなどで困った時に消費生活センターに相談できることを知っている区民の割合	60.9%	69.3%	70.0%	第4回(21)
感染の予防行動 1) 手洗い実施率	感染の予防行動をとっている区民の割合	84.2%	84.6%	90.0%	第4回(22)
感染の予防行動 2) 咳エチケット実施率	感染の予防行動をとっている区民の割合	77.7%	82.1%	85.0%	第4回(24)
食の安全に関する関心度	食中毒の予防や食品の安全に対して正しい知識を持つ区民の割合	65.8%	66.5%	80.0%	第4回(25)

基本政策Ⅲ 賑わい都市・新宿の創造

指標名	指標の定義	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)	参照 区政モニター アンケート 報告書(頁)
新宿駅周辺の回遊の しやすさに対する満足度	新宿駅周辺(東口・西口・南口など) が、訪れる人にとって、それぞれ アクセスしやすいと思う区民の割合	18.4%	18.4%	30.0%	第4回(26)
歌舞伎町に対する区民の イメージ	以前と比較して歌舞伎町が賑わいの あるまちになったと思う人の割合	30.7%	39.4%	40.0%	第2回(13)
景観に対する区民意識	まちなみや景観が「良い」、または 「まあまあ良い」と感じる区民の割合	42.8%	41.6%	60.0%	第4回(28)
地域特性を踏まえた まちづくりに対する 区民意識	地域の土地利用の特性を踏まえた まちづくりが行われていると感じる 区民の割合	39.8%	42.9%	60.0%	第4回(29)
道路の歩きやすさ満足度	安全で快適な歩きやすい道路だと 感じる人の割合	24.0%	23.3%	増加	第4回(30)
公園利用者満足度	公園の利用に関して満足している 区民の割合	68.9%	70.3%	75.0%	第4回(33)
環境に配慮した取組を 行っている区民の割合	環境に配慮した取組を例示した上で、 それらのいずれかを実施している区民 の割合	93.9%	95.8%	取組率 向上	第4回(36)
ごみの減量やリサイクルに 取り組む区民の割合	「ごみの減量・リサイクルの推進に 向けて取組を行っている」と回答する 区民の割合	98.3%	97.7%	取組率 向上	第1回(59)
区の伝統文化や文化財への 関心度	区の伝統文化や文化財への関心がある 区民の割合	62.8%	62.4%	70.0%	第4回(38)
文化芸術活動の状況	文化芸術の鑑賞や創作、表現活動など、 文化芸術に触れる機会がある区民の 割合	51.9%	50.5%	60.0%	第4回(42)
学習・スポーツ活動の 実施状況	学習・スポーツ活動を行っている 区民の割合	56.4%	56.5%	65.0%	第4回(50)
地域における多文化共生の 定着度	「地域における多文化共生が 進んでいる」と回答する区民の割合	64.5%	68.4%	増加	第4回(53)

基本政策Ⅴ 好感度1番の区役所

指標名	指標の定義	当初 (2017年度)	現状 (2019年度)	目標 (2027年度)	参照 区政モニター アンケート 報告書(頁)
区役所への好感度	様々な区役所とのかかわりの中で、 職員の対応や区の発行物のわかり やすさなど印象が「良い」と感じる人 の割合	49.0%	54.7%	55.0%	第4回(54)

Ⅲ 資料（調査票）

令和元年度 新宿区区政モニターアンケート 第4回

『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまち
の実現に向けて
～新宿区総合計画～

アンケートご記入にあたってのお願い

1. 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。設問によって、1つだけの場合や、あてはまるもの全てに○印をつけていただく場合があります。問いの最後に“(○は1つ)”などと記載してありますので、確認のうえご記入をお願いいたします。
2. 前問の回答によって、次に答える設問が変わる場合があります。
(例：問1で、「1」に○をした方におたずねします、など)
問いの前文や、回答欄の矢印等の指示に従ってお進みください。
3. 「その他」を選んだ場合には、() 内に具体的な回答をご記入ください。

全てご記入頂けましたら、同封の返信用封筒にて

整理票を取り外さず、

令和元年12月20日（金）までにご返送ください。

※整理票は、ご協力のお礼を発送するために必要なものです。開封後直ちに調査票から切り離しますので、調査票によって個人が特定されることは一切ございません。

問合せ先 新宿区総合政策部 区政情報課 広聴係

電話 03-5273-4065（直通）

FAX 03-5272-5500

E-Mail kuseijoho@city.shinjuku.lg.jp



『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～

現在、区は基本構想と総合計画（2018年度から2027年度）に基づき、区民が安心して心豊かに住み続けられる新宿区を実現していくための取り組みを行っています。（同封資料参照）

総合計画では基本構想に定める「めざすまちの姿」の実現にどのくらい近づけたかを測定するための成果指標を設けています。成果指標とは、行政活動の結果、目的に照らしてどのような成果があったかを示すものです。

基本政策Ⅰ 暮らしやすさ1番の新宿

＜地域福祉＞

問1 あなたは、高齢者や障害のある人などを見守り支えるための取り組みを、どのように推進していくのが良いと思いますか。（○は1つ）

- 1 地域の住民同士で協力して取り組むのが良いと思う
- 2 区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う
- 3 区の責任で取り組むのが良いと思う

＜障害者福祉＞

問2 新宿のまちは、障害があっても積極的に社会参加しやすいまちだと思いますか。（○は1つ）

- | | | |
|----------------|----------|---------|
| 1 そう思う → 問2-1へ | 2 そう思わない | 3 わからない |
|----------------|----------|---------|

問2-1 問2で、「1」に○をした方にお伺いします。

どのような点でそう思いますか。

（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 障害に関する正しい知識の普及啓発などが進んでいるから2 企業などで働く障害のある人が増えているから3 学校での障害に関する教育が進んでいるから4 地域で障害者との交流が進んでいるから5 障害者作品展やイベントなどが開催されているから6 公共の施設等にエレベーターなどの設置が進んでいるから7 公共の施設等のトイレなどが利用しやすくなっているから8 放置自転車や路上等障害物の対策が進んでいるから9 道路の段差などが解消されてきているから |
|--|

問3 平成28年4月に「障害者差別解消法」が施行され、行政機関や民間事業者に対して、障害を理由とした差別の禁止や障害特性に合わせた配慮（合理的配慮）の提供が求められることになりました。あなたは、この法律について知っていますか。（○は1つ）

- 1 内容を詳しく知っている
- 2 内容を少し知っている
- 3 内容は分からないが、名前は聞いたことがある
- 4 内容も名前も知らない

＜地域活動＞

問4 次の地域活動・ボランティア活動のうち、参加している（したことがある）ものに○をつけてください。（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

- 1 町会や自治会の活動（おまつりの手伝いや防災訓練、ゴミの分別回収や不用品のリサイクル活動、通学時などのパトロールなども含む）
- 2 高齢者クラブ、PTA、青少年育成委員会、消防団などの活動
- 3 民生委員・児童委員、公園サポーター、エコライフ推進員など、行政事業に協力する活動
- 4 学習・趣味・スポーツを主目的としたグループ活動
- 5 清掃・資源ごみの回収・リサイクル活動、交通安全、草刈りなどの地域活動
- 6 NPO（非営利活動団体）による活動
- 7 その他（ ）
- 8 活動に参加したことはない（理由： ）

基本政策Ⅱ 新宿の高度防災都市化と安全安心の強化

＜防災対策＞

問5 あなたは、地震などの災害が発生した際、安全を確保するために避難する、以下のア～ウの場所について、その意味とどこにあるかをご存知ですか。
（ア～ウそれぞれで、あてはまるものに1つ○をつけてください）

	意味も場所も知っている	意味は知っているが場所は知らない	意味も場所も知らない
ア 一時（いつとき）集合場所 ※避難所や避難場所に避難する前に、近隣の避難者が一時的に集合して様子を見る場所（自宅付近の公園など）	1	2	3
イ 避難所 ※倒壊や焼失などによって、自宅での生活ができなくなった人が避難生活をする場所（小・中学校など）	1	2	3
ウ 避難場所 ※大震災時の大火災から生命を守るために必要なスペースのある大規模公園、緑地等をいい、都が指定している。 （新宿御苑、戸山公園一帯、新宿中央公園一帯など）	1	2	3

問6 あなたのご家庭では、日ごろ防災対策をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|---------|
| 1 している → 問6-1へ | 2 していない |
|----------------|---------|

問6-1 問6で、「1」に○をした方にお伺いします。

どのような対策をしていますか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

- | |
|----------------------------------|
| 1 食料、飲料水の備蓄 |
| 2 簡易トイレ、ラジオ、携帯用充電機等の準備 |
| 3 常備薬の備蓄 |
| 4 消火器の準備 |
| 5 家具転倒防止器具等の取り付け |
| 6 避難場所や避難経路の確認 |
| 7 家族間の連絡手段（災害伝言ダイヤル「171」の利用等）の確認 |
| 8 自宅の耐震化 |
| 9 ブロック塀等の確認 |
| 10 地域で行われる防災訓練への参加 |
| 11 その他（) |

<安全・安心>

問7 あなたは、お住まいの地域で、犯罪への不安を感じることがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 不安を感じる | 4 不安を感じない |
| 2 少し感じる | 5 わからない |
| 3 あまり感じない | |
- 問7-1へ

問7-1 問7で、「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

不安を感じる理由は何ですか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

- | |
|----------------------------------|
| 1 事件に関する報道が多いから |
| 2 近所に暗くて人通りの少ない、犯罪が発生しそうな場所があるから |
| 3 近所や知り合いなど、身の回りに被害にあった人がいるから |
| 4 近所で不審者を見かけることがあるから |
| 5 自分や家族が被害にあったことがあるから |
| 6 犯行の現場を目撃したことがあるから |
| 7 何となく |
| 8 その他（) |

<安全な消費生活>

問 8 あなたは、悪質商法の被害防止や消費生活上のトラブル解決に対して関心がありますか。
(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 非常に関心がある | 4 まったく関心がない |
| 2 少し関心がある | 5 わからない |
| 3 あまり関心がない | |

問 9 あなたは、契約のトラブルなどで困ったときに区の消費生活センターに相談できることを知っていましたか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 相談できることを知っていた |
| 2 消費生活センターがあることは知っていたが、どのようなところか知らなかった |
| 3 消費生活センターを知らなかった |

<感染症予防>

問 10 インフルエンザ等の感染症や食中毒を予防するための習慣として、次のようなときに流水で手洗いをしていますか。
(ア～ウそれぞれで、あてはまるものに1つ○をつけてください)

ア 食事の前	イ トイレの後	ウ 外から帰った時
1 毎回している	1 毎回している	1 毎回している
2 ほぼ毎回している	2 ほぼ毎回している	2 ほぼ毎回している
3 あまりしていない	3 あまりしていない	3 あまりしていない
4 まったくしていない	4 まったくしていない	4 まったくしていない

問 11 咳・くしゃみの症状がある時、マスク等で鼻や口を覆う「咳エチケット」をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 毎回している | 3 あまりしていない |
| 2 ほぼ毎回している | 4 まったくしていない |

問 12 あなたは、食の安全に関する正しい知識や情報を持っていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 持っている | 4 あまり知識や情報はない |
| 2 ほぼ持っている | 5 わからない |
| 3 持っていない | |

＜新宿駅周辺の回遊性＞

1 そう思う 2 そう思わない → 問 1 3 - 1 へ 3 わからない

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

- 1 歩行者空間が少なく、混雑している
- 2 駅東西・南北のネットワークが弱い
- 3 鉄道や道路により移動しにくい
- 4 駅前広場では多方面への歩行者が集中し、交錯している
- 5 バリアフリー対応が不十分である
- 6 案内サインが統一されておらず、わかりにくい
- 7 駅が複雑でわかりにくい
- 8 駅の出入口がわかりにくい
- 9 その他（ ）

1 良い

2 まあまあ良い

3 どちらともいえない

4 あまり良くない

5 良くない

1 そう思う 4 あまり思わない
2 まあまあ思う 5 思わない
3 どちらともいえない

<安全で快適な道路>

問 1 6 新宿区内の道路は、安全で快適な歩きやすい道路だと思いますか。(○は1つ)

- 1 そう思う 2 そう思わない → 問 1 6 - 1 へ 3 わからない

問 1 6 - 1 問 1 6 で、「2」に○をした方にお伺いします。

そう思わない理由は何ですか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

- 1 道路が傷んでいる
2 段差や勾配がきつく使いづらい
3 道路、歩道の幅員が狭い
4 街路樹などみどりが少ない
5 放置自転車など不正な利用が多い
6 車や自転車の運転マナーが悪い
7 その他 ()

<公園整備>

問 1 7 あなたは、新宿区内の公園を利用していますか。(○は1つ)

- 1 利用している → 問 1 7 - 1 へ 2 利用していない → 問 1 7 - 2 へ

問 1 7 - 1 問 1 7 で、「1」に○をした方にお伺いします。

新宿区内の公園に満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足している 4 やや不満足である
2 やや満足している 5 不満足である
3 どちらともいえない

問 1 7 - 2 問 1 7 で、「2」に○をした方にお伺いします。

あなたが公園を利用しない理由は何ですか。

(あてはまるものに3つまで○をつけてください)

- 1 利用する時間がない
2 近くに公園がない
3 公園が狭い
4 遊具、ベンチ等利用したい施設がない
5 安心して利用できない
6 施設が老朽化したり、汚くて使いづらい
7 禁止されている事項が多い
8 ルール、マナーを守らない利用者が多い
9 その他 ()
10 特にない

<環境>

問 18 環境に配慮するために、実施していることはありますか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 冷暖房の適切な温度設定など家庭での省エネ行動の推進2 家庭用燃料電池（エネファーム）など省エネ型機器の導入3 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用4 みどりのカーテンの育成など家庭の緑化5 家庭での打ち水の実施6 新宿の森自然体験ツアーなど環境イベントへの参加7 環境学習情報センター等を活用した環境学習の実践8 環境に配慮した製品の購入9 食品ロス（※）の削減や、レジ袋の辞退などによるごみの減量10 ごみの適正な分別の徹底によるリサイクルの推進11 その他12 取組みを行っていない |
|---|

※ 食品ロスとは、①消費期限・賞味期限が切れているため、②食べ切れずに残ったため、③調理の際に食べられる部分も過剰に除去したためなどの理由により食べられるのに廃棄される食品を指します。

<文化・芸術>

問 19 あなたは、新宿区の伝統文化や文化財への関心がありますか。(○は1つ)

1 非常に関心がある	→ 問 19-1 へ	4 あまり関心がない
2 少し関心がある		5 まったく関心がない
3 どちらともいえない		

問 19-1 問 19 で、「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

あなたが、関心があるのはどのようなものですか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

1 史跡（小泉八雲終焉の地・夏目漱石誕生及び終焉の地・玉川上水跡など）
2 文化歴史施設（新宿歴史博物館・漱石山房記念館・林芙美子記念館など）
3 歴史的建造物（絵画館・早稲田大学の演劇博物館など）
4 由来のある町名（高田馬場・笹塚町など）
5 歴史的な坂や橋（神楽坂・夏目坂・面影橋・淀橋など）
6 絵画・彫刻など文化財（善国寺の毘沙門天・須賀神社の三十六歌仙絵など）
7 祭り・年中行事（高田馬場流鏑馬・萩原社中里神楽・鉄砲組百人隊行列など）
8 郷土史
9 伝説・民話（太田道灌の山吹の里・四谷怪談など）
10 伝統工芸（江戸小紋・つまみかんざしなど）
11 その他（ ）

問 20 あなたは、日頃、文化芸術の鑑賞や創作、表現活動など、文化・芸術を実際に体験する機会がありますか。(○は1つ)

※「文化・芸術」の範囲については、次の問 20-1 の選択肢をご参照の上、回答してください。

1 よくある	→ 問 20-1 へ	3 あまりない
2 まあまあある		4 まったくない

問20-1 問20で、「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

あなたが、関心があるのはどのようなものですか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

- | | |
|----|---|
| 1 | クラシック音楽（オーケストラ・オペラ・合唱など） |
| 2 | ポピュラー音楽（ロック・ポップス・ジャズなど） |
| 3 | 邦楽（長唄・義太夫など） |
| 4 | 歌謡曲（演歌・民謡など） |
| 5 | 美術（絵画・彫刻など） |
| 6 | 工芸（陶芸・染色など） |
| 7 | 映画・ビデオ |
| 8 | 写真 |
| 9 | 演劇・ミュージカル |
| 10 | バレエ・ダンス |
| 11 | 伝統芸能（歌舞伎・能・狂言・文楽・日本舞踊など） |
| 12 | 芸能（落語・漫才・講談など） |
| 13 | 華道・茶道・書道 |
| 14 | 文芸（文学・俳句・短歌など） |
| 15 | 漫画・アニメーション |
| 16 | その他（ ） |

問21 新宿区では、特に7月～11月を文化月間として設定し、「来て・見て・楽しい 新宿フィールドミュージアム」として区内の多彩な文化芸術イベントをガイドブックやインターネットなどで紹介しています。

あなたは、「新宿フィールドミュージアム」を知っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|------------|--------|
| 1 知っている | 2 聞いたことがある | 3 知らない |
|---------|------------|--------|

問22 あなたは、7月～11月の文化月間中に、なんらかの文化芸術イベントに参加しましたか。
(○は1つ)

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1 参加したことがある → 問22-1へ | 2 参加しなかった |
|----------------------|-----------|

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

- 1

問 2 3 あなたは現在、スポーツ・軽度な身体活動（ハイキング・ウォーキング、体操等を含む）、文化・学習活動等を行っていますか。（○は1つ）

- ## 2 行っていない

平均して、どのくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

-)

あなたは、地域における多文化共生が進んでいると思いますか。(○は1つ)

- #### 4 そう思わない

基本政策Ⅴ 好感度1番の区役所

＜行政サービス＞

問25 あなたが区役所とのかかわりの中で感じている区職員の対応や区の発行物のわかりやすさなどの印象をお答えください。

(ア～カそれぞれで、あてはまるものに1つ○をつけてください)

	そう思う	ややそう思う	そう思わない	利用していない	わからない
ア 区職員の窓口対応の印象が良かった	1	2	3	4	5
イ 区職員の電話対応の印象が良かった	1	2	3	4	5
ウ 区有施設が利用しやすく、印象が良かった	1	2	3	4	5
エ 区の広報紙などがわかりやすく、印象が良かった	1	2	3	4	5
オ 区のホームページ、ツイッター及びフェイスブックなどがわかりやすく、印象が良かった	1	2	3	4	5
カ 区職員の対応、区有施設の利用のしやすさ、区からの情報提供などのわかりやすさなど、区役所に対して印象が良いと感じた	1	2	3	4	5

その他

＜しんじゅくコール（新宿区コールセンター）＞

問26 あなたは、「しんじゅくコール」（新宿区コールセンター ☎3209-9999）を知っていますか。(○は1つ)

1 知っている → 問26-1へ 2 知らない

問26-1 問26で、「1」に○をした方にお伺いします。

「しんじゅくコール」を利用したことはありますか。(○は1つ)

1 利用したことがある → 問26-2へ 2 利用したことはない

問26-2 問26-1で、「1」に○をした方にお伺いします。

オペレーターの案内は的確でしたか。(○は1つ)

1 的確だった 2 おおむね的確だった 3 的確ではなかった

—— 引き続き、回答者の属性のご記入をお願いします ——

—— 引き続き、回答者の属性のご記入をお願いします ——

※調査結果を統計処理する際に必要ですので、次ページ以降の回答者の属性もご記入ください。

※調査票についている「整理票」は、ご協力のお礼をお送りするために必要ですので、取り外さずにそのままご返送ください。区に到着後、整理票は調査票から取り外して保管しますので、調査票から個人が特定されることはありません。

回 答 者 の 属 性

問ア あなたのお住まいの地域（所管する特別出張所の地域）をお選びください。（○は1つ）

- | | |
|-------|-----------|
| 1 四谷 | 6 戸塚 |
| 2 箆笥町 | 7 落合第一 |
| 3 榎町 | 8 落合第二 |
| 4 若松町 | 9 柏木 |
| 5 大久保 | 10 角筈・区役所 |

問イ 性別をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問ウ あなたの年齢（満年齢）を、次の中からお選びください。（○は1つ）

- | | |
|----------|-----------|
| 1 18～19歳 | 8 50～54歳 |
| 2 20～24歳 | 9 55～59歳 |
| 3 25～29歳 | 10 60～64歳 |
| 4 30～34歳 | 11 65～69歳 |
| 5 35～39歳 | 12 70～74歳 |
| 6 40～44歳 | 13 75～79歳 |
| 7 45～49歳 | 14 80歳以上 |

問カ あなたは新宿区に住んで何年になりますか。(〇は1つ)

1 1年未満	5 10年以上20年未満
2 1年以上3年未満	6 20年以上30年未満
3 3年以上5年未満	7 30年以上
4 5年以上10年未満	

問キ 現在のあなたの住宅の形態は、次のうちどれですか。(〇は1つ)

一戸建て	集合住宅
1 持ち家の一戸建て	5 分譲マンション・アパート (自己所有のものを含む)
2 賃貸の一戸建て	6 賃貸マンション・アパート
3 社宅・公務員官舎の一戸建て	7 賃貸のUR都市機構(旧公団) ・公社のマンション・アパート
4 その他 ()	8 賃貸の都営・区営住宅
	9 社宅・公務員官舎
	10 その他 ()

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。
お手数をおかけしますが、同封の返信用封筒にて、

整理票を取り外さず、

12月20日(金)までに、ご返送ください。

(返送・問合せ先)

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1

新宿区総合政策部 区政情報課 広聴係

電話 03-5273-4065 (直通)

FAX 03-5272-5500

E-mail kuseijoho@city.shinjuku.lg.jp

令和元年度第4回新宿区区政モニターアンケート

令和2年3月発行

編集・発行

新宿区総合政策部区政情報課広聴係

東京都新宿区歌舞伎町1-4-1

電話(03)5273-4065(直通)

印刷物作成番号

2019-29-2106

この印刷物は、業者委託により400部印刷製本しています。その経費として、1部あたり440円(税込み)がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送経費などは含んでいません。

新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。
本誌は森林資源の保護とリサイクルの促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。